

問 2 地球環境問題に関するご意見

<国内>

2-3 問 1、2-1 で選択した 2 つの項目に対し、これらを解決するためにはどの分野の対策が最も有効と考えられますか。表 3 から 1 つお選び下さい。また選択した理由または具体的な対策をご記入下さい。その他の分野をご提案される場合には、回答欄に分野と対策をご記入下さい。

表 3 地球環境問題の施策

分野	具体的な対策（例）
1. 政治分野	国際協力活動 貧富の格差解消などの政策
2. 経済分野	持続的発展かつ地球環境を考慮した経済政策
3. 社会・教育分野	環境問題の教育または啓蒙 環境問題への意識向上 ライフスタイルの変更 環境保護活動などの実践的な活動
4. 科学技術分野	地球環境問題についての理論の発展 環境問題解決へ向けての科学的な指針の構築 省エネルギー技術の発展
5. その他	(回答欄に分野と対策をご記入ください)

問 3 その他、環境問題に関するご意見を自由にご記入下さい。

注) 以下に掲載の記述回答文の内容は、回答者個人のご意見で有り、財団の見解を代表するものではありません。

回答者が選んだ解決に有効な対策の分野ごとに、記述をまとめて表示しています。また回答には氏名（敬称略）、国名、事務局番号を明記して、匿名希望者は匿名として標記しております。

【1. 政治分野 を解決に有効な対策の分野に選んだ方の回答】

田之内 厚三 007

2-3 選択した理由または具体的な対策

先進国と発展途上国との政治的分野での協調。

問 3

エネルギー、食糧等に関する国際協調がすごく重要。自国だけの経済優先は危険。

(匿名) 010

2-3 選択した理由または具体的な対策

先進国と後進国の利害関係と駆け引きだけで、自国の利益のみを追求する姿勢。人類の英知はどこにいったのか。地球の滅亡を待つだけか。残念。

問 3

我が日本は、環境先進国と言っているのは真っ赤な嘘か？もっとリーダーシップを取って世界をリードできないものか？国民の草の根で環境問題を考え行動しないと地球は滅亡か？残念無念。

荻野 博司 015

2-3 選択した理由または具体的な対策

各国の協調なくして green gas は減らせない。

問 3

(なし)

藤原 寿和 026

2-3 選択した理由または具体的な対策

原子力エネルギーからの離脱と核兵器全廃に向けての政治選択と国際合意。

問 3

2020年という年は東京オリンピック開催の年ですが、1970年の公害国会で公害・環境法令が整備された年から半世紀が経ちます。この間に2011.3.11の東日本大震災による原発事故で環境の放射能汚染がもたらされました。この機会に原子力関連法制と環境法制の全面的な見直しが必要とされています。

(匿名) 034

2-3 選択した理由または具体的な対策

途上国における衛生環境及び保健医療サービスへのアクセスの改善。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3

大気、水に比べ土砂への関心、関与がうすい。

(匿名) 047

2-3 選択した理由または具体的な対策
制度を変えないと効果がないから。

問3

戦争や環境無策など、今後の人類社会を大いに憂います。

(匿名) 049

2-3 選択した理由または具体的な対策
政治的な働きかけがなければ、対策は動かない。

問3

とにかく対策をしないと何も始まらない。予防策が重要。

与五沢 和良 079

2-3 選択した理由または具体的な対策
国際会議のたびに、先進国と開発途上国の利害がいつも水と油で不一致となる。しかし、人類の存続と言う大局的な立場からすれば、両者が折り合うことは決して不可能ではないだろう。先ず国際協力を第一に考え協力・一致し、成果を出して欲しいと思う。

問3

環境問題とは経済と社会の問題である。国家のエゴや誤ったリードによって人為的に深刻な気候変動を加速させている。今後、氷床の溶融などの海面上昇や超巨大台風などの甚大な被害も予想される。取り返しがつかなくなる前に、国別を問わず、人類は一人一人が宇宙船地球号の乗組員であることを改めて自覚し、行動すべきである。

郡寫 孝 080

2-3 選択した理由または具体的な対策
国益中心の国際協力（インターナショナル）から地球益中心への地球（グローバル）での協力への転換のもとに、「環境と経済（貧困）と社会」の統合のための政治的、社会的協力体制の構築の必要性。

問3

ドイツの環境団体のポスターに「毎日が環境の日」というのがあります。我が国にも環境に関する月間は多くありますが、日々の行動における「環境配慮」は「毎日が環境の日」という心構えが必要なことも知れません。

白砂 信夫 082

2-3 選択した理由または具体的な対策
政治主導が不可欠。

問3

地球温暖化により、人類の滅亡は近い。

(匿名) 087

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3

環境問題の解決には、政治、社会、教育、科学技術の総合でしかできない。

長谷 敏夫 088

2-3 選択した理由または具体的な対策
政治的な判断と実行。

問3

脱成長(Decroissance)の考え方で地球を救うことを考えています。Sustainable Development では汚染拡大、資源枯渇が続きます。

笠井 高芳 089

2-3 選択した理由または具体的な対策
人口の爆発的増加の抑制に資するには国際協力以外にない。

問3

先進国、後進国とも環境問題の解決の為には、国内有力者、指導者のエゴを抑える以外にない。

2-3 選択した理由または具体的な対策

多消費型、一極集中型経済の見直し→政治的に行うしかない。

問 3

環境問題は、地球規模であれ国単位であれ、地方単位であれ、全ての人の活動 (=ライフスタイル) が原因であり、その結果である。人類はその価値観を変えられるか? 現時点、正しいと言われ、思われていることが、本当にそうなのか? ここからの議論が必要。

大串 信昌 094

2-3 選択した理由または具体的な対策

温暖化対策等地球環境問題に関する国際協調とそのための技術開発及び途上国支援。

問 3

(なし)

小泉 健 106

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

自然再生エネルギーへの取組が重要。

(匿名) 108

2-3 選択した理由または具体的な対策

一国だけでは問題は解決できない。

問 3

(なし)

水谷 勉 113

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

国際的な場で環境問題とくに温暖化対策が議論される時、いつも先進国責任が問題となっている。先進国・途上国とも自らが為しうる最大限の努力を担ってほしいものです。

(匿名) 115

2-3 選択した理由または具体的な対策

各国協調のもとでの人口抑制が必要である。

問 3

貧困が途上国における人口問題を深刻にしているが、貧富とは相対的概念であり、経済的支援で解決できるとは思えない。まずは途上国から多くの資源を収奪している先進国の生活スタイルを改革させる必要がある。自給率の向上等は有効と思う。

(匿名) 118

2-3 選択した理由または具体的な対策

温室効果ガスの排出抑制も含めた緩和策、適応策の推進は、一国のみの努力では必ずしも十分でないため、国際協力 (特に対策が進んでいる国から遅れている国への技術移転) が不可欠。

問 3

国際的に非難を浴びている我が国の GHG 排出量削減目標について、国内におけるこれ以上の削減はいろいろな面で影響が大きすぎる。従って、1970 年代前半以降 2 度のオイルショックなどにより省エネ技術を飛躍的に進展させたこと (=GHG 排出量削減) を積極的に PR するとともに GHG 大量排出国に対する技術支援により削減した分 (の一部) を我が国の削減量としてカウントすべき。

後藤 隆雄 121

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

ゴミゼロ社会のためのイノベーションの共有実現。

(匿名) 130

2-3 選択した理由または具体的な対策

先進国と発展途上国が隔たり無く互いに協力し合うことが解決への近道であると思われる。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

GDP で世界 1 位の米国、2 位の中国には一層の環境対策を求めたい。

(匿名) 136

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境問題は当然ながら地球規模の話であり、特定の国だけが数値目標を定め実施するものではない。

問3

環境問題に対する認識や環境教育は国によって温度差があり、その是正も重要であるように思う。

亀山 康子 W011

2-3 選択した理由または具体的な対策

森林破壊の多くは途上国で起きており、これらの国の中だけでは解決できないため。

問3

(なし)

小島 紀徳 W013

2-3 選択した理由または具体的な対策

国内政治でも寄与できるものがあります。例えば環境負荷に対する税として、いくつか考えられるのですが、炭素税よりエネルギー税（基本的にはエネルギー使用量を抑えるための技術開発が必要であるから）、さらには資源税（エネルギーを含める。また CO2 排出は資源を使用するから排出されるため）といった、より包括的税制の導入を、国内で行うことで（ただし、輸出に際しては税の還付、輸入に関しては LCA に基づく課税が必要）、数百年にわたる長期的視野に立った、国際的にモデルとなる社会形成と、必要な技術開発が進む。

問3

日本はこれ以上経済発展は不要。既にもう十分豊かです。

(匿名) W015

2-3 選択した理由または具体的な対策

平和的な解決方法を捜す必要がある。

問3

(なし)

後藤 敏彦 W017

2-3 選択した理由または具体的な対策

人為起源なので、国際合意のもとで GHGs 削減策を施行する必要がある。

問3

日本だけが先進国の中で認識が遅れている。このままでは COP21 以降、相手にされなくなる懸念。気候変動等をリスク要因としてとらえるだけでなく、リターン要因(機会)としてとらえるビジネス・モデルに変革を図るもののみが生き残れる。

米田 明人 W021

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動対策については二酸化炭素の削減などについて政治的な対応が必要であるし、また国際的な協力体制が必要。

問3

気候変動問題に対しては政治的な対応が一番必要だと思うが、日本政府として十分な対応ができていると思えない、また、世界のリーダーとしての自覚を持って対応してもらいたい。

井手 慎司 W035

2-3 選択した理由または具体的な対策

水資源の問題は、環境や経済の問題と相互に関係しあっているが、その解決に向けては、政治的な決断や国際的な協力が不可欠だと考えるため。

問3

(なし)

平山 育男 W042

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

環境問題は広く、経済、社会、そして宗教の問題と深く関わっている。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

自由競争と政治のバランスが非常に大切であると感じている。

2-3 選択した理由または具体的な対策

社会的・経済的安定と生活水準の向上が無ければ、本質的な問題解決には至らないと思われるから。

問 3

環境問題だからといって、環境対策のみを考えてもたいした成果が出ないことが、この 20 年で分かったいちばん重要なことだと思う。

人間の欲望には際限がない。だからこそ、その貪欲さを、地球を慈しみ大切に思う方向に向けていくことを考えてみたい。

2-3 選択した理由または具体的な対策

営利主体で経済的活動が行われている以上、政治的解決法以外に抑制策がない。とくに政治的に（広義の環境対策において）非常に甘い国も現状多く、これらをいかに本質的議論に向かわせ実際の対策につなげられるかが懸案事項でしょう。

問 3

日本がモデルケースとなることは望まれますが、残念ながら先の原発事故などの影響で世界的視点からは説得力が低下したと言わざるを得ません。自然災害が顕在化して久しい近年、もう急務の課題として気候変動や温暖化対策に取り組むことが切に望まれます。

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球にとって、自然は最も大切な社会インフラです。森林が酸素を作り、水を蓄え、海を育て、生物を養っています。世界に大きな貧富の差があります。それを解消するという名目で、現在の資本主義の生産効率に置き換えて、開発の名のもとに自然を破壊し続けていい訳がありません。政治的な政策として、例えば、アマゾンの森林で造る酸素に対して、自然を守り酸素を供給し続けてもらうために、世界中から金を払って良いのではないのでしょうか。日本を考えても一緒です。価値観の多様化とか、ライフワークバランスとか言いますが、口だけです。なぜ農村が疲弊したか、里山が無くなっていったか。なぜ東京一極集中になったか、今、真剣に議論し具体的な対策を考えている政治家がいるか疑問です。

問 3

核廃棄物や廃棄物に対して、もっと真剣に考えるべきです。作ることを始めると同時に捨てることも始められるようにしないとイケないはず。環境を良くし、エネルギー消費を抑えると言う名目で（太陽光パネルなど）作られ設備されていくものの中に、将来捨てるに必ず困るものがあります。環境問題は、一国で解決できる問題ではありません。しかし、日本から発信はできるはず。今の政府に環境問題を真剣に考えている姿勢を感じることはできません。

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球規模の環境汚染が進行する現状を変えるには国際的な協力が不可欠です。そのためには政治的な役割が多いと思います。日本でいくら規制を強化しても、また情報公開を強化してもそうでない国が近くにあれば意味をなさないような感じがします。アジアに適用されるような環境保全条約ができるような仕組みを構築する必要があります。

問 3

日本では気候変動の原因である CO2 はあたかも汚染物質ではないかのように捉えられがちです。気候変動対策を本格化していくには CO2 が人類の生存に影響を与える汚染物質として位置付ける必要があります。そうすることでエネルギー問題かのような議論ではなく、いかに汚染物質の排出を抑えるか、という議論に結びつけることができると考えます。

2-3 選択した理由または具体的な対策

2、3、4 のような分野の対策を採るにも政治的意思決定が必要だから。地球環境に関わる強力な合意がなければ危機回避できない。

問 3

地球環境だけでなく、足下の環境問題もまだ解決していない。地球環境を守るためには地域の環境に鈍感では不可能であろうし、地域環境を守るためにも地球環境が重要である。日本の地域環境を守る取り組みも引き続き重要だが、政治も市民意識もその点で後退しているように感じる。

(匿名) W112

2-3 選択した理由または具体的な対策

発展途上国での貧富の格差解消によって、平等に教育を受けることができ、意識の向上が図れる。ただ現在問題になっている ISIS など宗教が根源となっているものについては熟考する必要があるが、生活が豊かであれば、意識も変化するのではと考える。

問 3

生きていくために頼れるものが何もなく、周辺環境を破壊してでも生きていかなければならない状況となっている。貧富の差は大きいですが、先進国でも見えないところではこのような意識レベルの低下が起きている。

佐久間 章行 W115

2-3 選択した理由または具体的な対策

国家・民族・宗教の単位での部分最適化を優先する現行の文化を、全面的に転換しない限り人類に残された時間は短い。人類存続が第一義の価値であることを認識した価値体系を確立することが大切であり、民意が政治を動かす運動が不可欠である。

問 3

人類保存学を体系化すること。その研究成果より人類保存主義を確立し、普及し、実践することを真剣に検討することが重要。そのためには、現行の「事実の不直視文化」の本質を見極めること、人類保存するための新しい善と悪の価値体系を樹立すること、社会の部分最適化を排除し私利私欲の過去の行動様式を変更すること、闘争第一主義の遺伝子に地球有限化の概念を教えること、全人類が「勝利は自滅」となる構造変化を理解すること、などが必要である。

(匿名) W120

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

環境問題は、先進国と新興国との意見や議論がかみ合わず、平行線をたどってほとんど何も決まらない。CO2 を取り上げても、排出量が最も多い米国と中国が真剣にとりあげず、お茶を濁すだけである。日本は、排出ガスの減少技術について世界のトップクラスだが、もっと世界で認識されるように、データに基づいてきちんと PR すべきだ。また、原発への取り組みも、中途半端でおかしい。

(匿名) W128

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球温暖化対策は典型的なグローバル環境問題であり、国際的な取り組みが不可欠である。特に政治的に各国等のリーダーが取り組まない限り、問題解決はむづかしい。

問 3

(なし)

(匿名) W130

2-3 選択した理由または具体的な対策

国際的な枠組みの下、世界各国において、温室効果ガス削減のための計画的・効果的な対策が必要。

問 3

(なし)

藤岡 諭 W137

2-3 選択した理由または具体的な対策

アメリカ合衆国での政策決定が、「コスト・ベネフィット分析を行った上で、アメリカ合衆国としてベネフィットがコストを上回らないと当該政策を採用しない」という決定方法であることが、国際的な課題である温暖化対策が進まない最大の原因であると思う。

近年は、巨大なハリケーンによる甚大な被害の発生などを受けて、温暖化対策を進めることによるアメリカ合衆国の国内のベネフィットが相対的に大きくなり、温暖化対策が政治的なテーマになりつつあるが……。

自国の利益だけを追求するだけではなく、地球全体の利益を訴えることができる政治的リーダーが生まれることが必要であると思う。

問 3

環境問題の解決には、技術の発展、知識の普及、意識の高揚も必要であるが、政治的リーダーによる「地球全体の利益のためには自国の利益が最大化しなくとも進めなければならない」というメッセージが必要不可欠であると思う。

ここでは、経済発展の推進のために用いられてきた経済学的手法をそのまま適用するのは相応しくない、新たな政策決定のためのツールが必要であると思う。

(匿名) W145

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球温暖化問題についての政治レベルでの認識が低く、将来を見据えたエネルギーミックスの体系についての明確な方向性が示されない状況が続いている。

問 3

日本にいと、世界の深刻な環境問題の現状を特に認識することなく過ごせることを、今回のアンケートに回答する中で感じました。

藤原 勇彦 W148

2-3 選択した理由または具体的な対策

ローマクラブからでももう 40 年以上経過した。有限な地球環境のリソースを、先進国、途上国、新興国でどのように分け合うか、平和的かつ公平・公正な方法を、そろそろ政治の分野で発明しなければならない。当該政府関係者だけでない幅広い人々が参加する議論の場と時間が、必要十分に確保されなければならない。

問 3

(なし)

(匿名) W151

2-3 選択した理由または具体的な対策

国際的な枠組みでの推進が必要であるため。

問 3

(なし)

星野 眞 W152

2-3 選択した理由または具体的な対策

各個人の、経済活性化より省資源・環境保全を重視する意識の浸透と、それを政策に反映させようと言う行動の拡大こそ最重要である。

問 3

現安倍政権発足以来の、“20 世紀への逆行”とも言える環境政策の軽視・後退を極めて憂慮する。

(匿名) W191

2-3 選択した理由または具体的な対策

重要な政策課題の一つとして国を挙げて取り上げて、さらなる対策が必要。

問 3

(なし)

渡辺 哲 W220

2-3 選択した理由または具体的な対策

昨今の地球環境の保全並びに環境問題の解決に関して、あまりにも国家間の政治・政策的理念の相違や経済的利益の優先が半ばエゴイスティックに働いているように思われる。再度、地球環境保全の意義・必然性について、政治政策的垣根を除去し、世界各国が原点回帰することが必要であると思う。

問 3

(なし)

中嶋 隆一 W230

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動、温暖化対策、環境汚染等、すべて相互に関連し原因となっている場合が多い。これらは組織として取り組まない限り解決の道は遠いが、国際的には資金的協力が必要である。究極的には国家間の政治主導による国際協力が必要であると考え。

問 3

(なし)

道家 哲平 W233

2-3 選択した理由または具体的な対策

対策分野として (1-3) が大きいのが、解決をしなければならない時間とかけられる資金等を考えたときに、効果が高く、最短のアプローチが政治分野であると考えられるため。生物多様性分野では、愛知ターゲットという 2020 年までに達成すべき 20 の分野での行動(達成)目標があるが、その実施の経験(中間評価)からも、仕組み・枠組みを設定することが生物多様性保全の直接的あるいは間接的要因に効力を発揮することが指摘されている。

問 3

(なし)

山村 武敏 W234

2-3 選択した理由または具体的な対策

経済的利益を優先する経済界からの圧力により、政治が適切な判断を下せない。

問 3

地球温暖化を止めることはできない状況になっている。経済的利益を優先する個々の企業が、全体的利益を考えていない。また、政治も本格的に対策を立てようとしていない。経済的成長により貧富の差が激し

くなり、富裕層は全体利益よりも自己の利益を優先していることにより、温暖化防止対策は進んでいない。

宗宮 弘明 W242

2-3 選択した理由または具体的な対策

政治は、可能なことを「使命感」を持ってやることに存在基盤があると考えているから。持続可能な社会を創ることが、今こそ必要とされる時代は今までありませんでした。持続可能な社会をつくるため、政治家が、リーダーシップを発揮する時代になったと思っています。もちろん、経済人、科学者などと連携する必要があります。

問3

先に書きましたが、一刻も早く「持続可能な」社会にする必要があります。次の世代の繁栄を「担保」しない、「現在の繁栄の追求」は、早晩無意味なものとなるでしょう。現在は、それほど重要な時期にあると考えています。

(匿名) W243

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

東電および政府は、福島第一のデブリは原子炉格納容器内底にあると思っているようだが、何の根拠もない。仮にデブリが地下深くに存在し、地下水を汚染しているとするならば、将来太平洋全体を汚染することになる。デブリの位置を特定することが極めて重要。

岸 道郎 W247

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

地球環境問題より、宗教対立などの政治問題で戦争が勃発して破局を迎える可能性の方が高くなった。

沖 大幹 W250

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

グローバルな環境問題の解決には途上国の経済発展が鍵であると期待される。

板倉 賢一 W254

2-3 選択した理由または具体的な対策

貧富の格差解消、紛争の回避のためには、政治力を持って国際協調を図るのが一番合理的である。

問3

環境問題を政治の道具にしたり、環境問題で事業利益を追求すると、地球規模の環境問題を国際協力では解決できない。国家レベルの政治や経済を持ち込まない、地球環境問題に特化した、国際政治力が必要とされているように思う。

小寺 敬太郎 W267

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境問題に関する知識や対策技術は進んでいるにもかかわらず、国家、民族間のエゴや利権のため対策が十分に進められないのが現実である。

問3

(なし)

(匿名) W273

2-3 選択した理由または具体的な対策

問1、2-1.で選択した項目は4項目(正確には3項目)になる。(質問において間違いあり) また、これらを解決するための対策としては ・地球全体における人口の調整 ・持続可能な代替エネルギーの早期開発 が必要であるが、問2-3における選択は一つであるので、1.政治分野を選択した。

問3

地球における環境問題を考えた場合、最も影響力が大きい存在は人類である。人口曲線から、ここ数百年において人口が指数関数的に増加していることが判る。急激な変化における地球への影響を考慮すると、良い結果をもたらせる事は決してない。

(匿名) W280

2-3 選択した理由または具体的な対策

国際的な経済格差の解消には、政治的な解決策が必要だと思うから

問3

最近、「戦争は最大の環境破壊」と強く思います。

2-3 選択した理由または具体的な対策

問題に対する異なる価値観、異なる立場の対立が深刻化しているように見える。その間の対話を促し、社会的な満足感の高い意思決定を導くのは政治の仕事であるように思うため。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動による影響を極力抑えるため二酸化炭素の排出削減に向け世界が一致して行動することが求められており、今年末の COP21 で、先進国のみならず途上国も含め、高い削減目標で合意することが最重要。合意により各国の経済政策や個人意識の転換を図る施策等がより具体的になり、化石燃料の使用を抑制する様々な取り組みが加速されることを期待したい。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

温暖化対策と気候変動対処で政治分野を選択する理由と具体策

<背景> 人為起源による地球温暖化の進行は、IPCC はじめ世界の専門機関が測定し発表する GHG 増加と地球気温上昇に伴う気候変動・異常気象の世界的な顕在化が如実に示している。昨年暮れの IPCC 第 5 次報告書は、温暖化対策が有効に講じられなければ 21 世紀の地球気温は 2.6℃～4.8℃上昇し、海面上昇が最大 82cm に達することとなり、世界で食糧危機、水飢饉が発生して暑熱死亡率も大幅にアップすると指摘した。その予兆とも思われる諸現象は北極、南極の海水減少やヒマラヤ氷河の消失に止まらず、季節はずれの猛暑、豪雪、台風巨大化、集中豪雨、大旱魃等の異常気象現象となって世界各地で起き始めており、日本も例外ではない。異常気象による食糧難民、水飢饉難民の国境を超えた大移動が将来地球規模の戦争の火種になると予想する専門機関さえある。今や世界は地球温暖化という人類共通の待ったなしの脅威に一致協力して立ち向かわねばならないポイント・オブ・ノーリターンに立たされている。温暖化対策は 21 世紀の人類が民族、思想、宗教、国籍を超えて直面する人類最大の共通課題である。このような認識から、世界各国は国連 IPCC での温暖化対策政府間検討を行ってきたが、今年は 11～12 月にパリでその COP21 が開催されて、温暖化の人為起源である GHG の各国の削減目標を持ち寄り、中長期の世界温暖化対策を決める運びとなっている。

<政治分野を選択した理由> 温暖化の人為起源である GHG は人間の経済活動、社会活動、軍事活動、消費生活の各側面で地域を越え世代を超えて長期にわたり発生し蓄積したものであり、その削減は個別関連各側面のあり方に深い影響変化を及ぼすものである。各側面個別の持続的な取組が必要なことは申すまでもないが、そのためには地域を越え世代を超えた意識付けと意識の共有が不可欠であって、それは国家にあっては、経済、社会、軍事、消費生活を総じて中央政治が全側面を俯瞰し側面相互の関連性も念頭に、各側面を構成する人々と意見交換し協調して、国としての大きな方向性を示しつつ推進すべき重要な国家課題である。まず政治が国家全体としての大きな方向性を示すことが求められる。

<政治分野の具体的な対策の問題点> 以上の観点に立って日本の温暖化防止への政治の対応を考察すると、様々な疑問点問題点が浮かび上がってくる。本年末の COP21 に備えて、政府は 4 月 30 日「日本の GHG 削減約束草案要綱(案)」を公表し、先立つ 4 月 28 日「長期エネルギー需給見通し骨子(案)」を公表した。その内容は、GHG 削減目標が 2030 年度で 2013 年度比 26% (1990 年比 18%、2005 年比 25.4%) であり、また 2030 年の日本のエネルギー需給構造については、省エネを前提としつつも、再生エネルギー 22～24%、原子力 20～22%、石炭火力 26%等となっている。さらに 4 月 27 日公表の「2030 年の電源別発電コスト試算結果」は、1 kWh 当り原子力発電 10.1 円、石炭火力 12.9 円、非住宅太陽光発電 12.7～15.5 円となっている。27 日公表の電源別発電コストを勘案して 28 日のエネルギー需給構造を決め、30 日公表の GHG 削減目標を出したという流れなのだろうが、各公表数値の算出根拠は不明確であり、相互の計数的関連性も明らかでなく説得力はない。21 世紀最大の世界共通の温暖化対策という重要問題に、日本としてどのようなスタンスで望み、国としての各側面への大きな方向性を示すのかという、政治が果たすべき責任感が全く感じられない。仄見えるのは原発固執姿勢であり、それを念頭に電源別コストを試算し、エネルギー需給構造を作成し、さらに経済界への高度の配慮を加味した GHG 削減目標を立てたとしか思えない。まず GHG2030 年度削減目標 26%は、90 年比に置換すると先述したとおり 18%減に過ぎず、最初から 90 年比で公表済みの EU、ノルウェーの最低 40%減、スイス 50%減、ロシア 25～30%減と比較して、あまりにも消極的といわざるを得ない。意図的に基準年次を変えて見せかけの数字を大きくしたとの憶測も出て、国際社会からの批判は避けられず国際信用失墜にも繋がることを危惧するものである。既に日本は 2013 年の COP19 でそれまでの国際公約であった 90 年基準 2020 年 25%減を破棄し、基準年を 2005 年にずらして 2020 年 3.8%減 (90 年比では大幅増) を提出して世界の顰蹙を買っただけに、今回は長期的視点に立った真の「国益」維持の観点で、より積極目標を出すべきである。2030 年の GHG 削減検討に際しては、日本は今後の急激な人口減少、産業構造変化、省エネ努力効果を適正に織り込んだ上で、以前閣議決定済みの 2050 年 80%減目標に向けて、今回は 2030 年に 1990 年比で少なくとも 40%減を打出すべきであるし、それは中央政治が各側面に大きな方向性を明確に示すことで、原発がなくても達成可能な数値である。関連して 2030 年の電源構成の問題点としては、前提の高い経済成長に比して省エネをさほど見込

んでいないことと、2030年時点で未だ原発を維持してその分再生エネルギーを低く抑えていることがあげられる。2014年末の日本経済研究センターの報告書では、非製造業主体の産業構造に転換すれば、エネルギー消費量は2050年度までに2010年比40%減少すると予測しているが、政治の大きな方向付け・目標設定が出れば省エネ科学技術のさらなる進展や各側面での省エネ努力も相俟って、全体として目標達成に進むことは間違いない。その中で原発は、今回政府案を目指すためには現在政府が模索中の原発稼働期間延長や新增設を視野に入れざるをえなくなる。福島事故の影響はあまりにも大きく、未だに収拾の目処は全く立たないばかりか、使用済み核燃料の最終処分がほとんど不可能な現状を見ると、原発を2030年時点でも運営し続けることは許されない。原発再稼働反対の民意は根強く、火山地震活動が活発化しつつある日本列島での原発稼働は中止すべきである。温暖化対策としてのGHG削減は、原発によらなくても再生エネルギーの積極採用により十分達成できる。日本の再生エネルギー使用政府案は2030年22～24%となっており、2013年度実績はわずか2.5%であるが、福島原発事故を契機に脱原発を政治決定したドイツは2025年までに40～45%、2035年55～60%という高い目標を掲げ、スペイン2020年40%、英国2020年30%、フランス2030年40%、EU2030年45%、米カリフォルニア州2030年50%、NY州2015年29%と、高い再生エネルギー使用目標は今や世界の趨勢となっている。日本が原発に拘る半面で再生エネルギー使用を抑制することで、日本は再生エネルギー開発で世界に大きく遅れをとりつつある。日本でも企業は世界の趨勢に遅れまいとする焦りがあり、政府と大手電力の抑制から制約がある国内よりもむしろ海外に活路を求めているのが現状である。福島を経験した日本でこそ、政治が率先して脱原発・再生エネルギー活用に向けて世界を先導する方向付けを示すべきである。再生エネルギーのコスト低減は、政治の方向付けさえ明示されれば技術開発、企業努力に拍車がかかり、急速に実現していくことは確実である。巨大装置産業で拠点立地産業の原発に比較して、再生エネルギーは地域特性に応じて地域と密着して展開可能な地域分散型のエネルギーであり、現政権が唱える新成長戦略の目玉として、地域再生策の柱になる最有力候補である。

最後に現在欠落しているが、政治の重要なGHG削減対策対象として、軍事を挙げたい。日本のGHG排出は産業、業務、運輸、家庭の各部門毎に排出実績が把握され、削減目標を立てて削減努力がなされている。軍事はその業務部門に含まれるが、排出データ把握は防衛省関連のオフィス、学校、病院に限られており、自衛隊の宿舎及び訓練、演習等の活動からの排出量は全くわからない。軍事は平時でも日常活動や演習等からかなりの排出を伴うと思われるが、戦時には人命殺傷はもとより、建造物、森林、油田等を破壊し炎上させて、膨大なGHGを排出することは過去の戦争事例が示している。過去に世界の軍事部門からの排出量をイラク戦争の米軍軍事費と石油消費量から換算して年間約7.9億トンとする記述（2006年9月「環境情報科学」田中優氏）や湾岸戦争での排出量がドイツ一国の年間排出量に匹敵するという発表（2003年6月「日経環境エコロジー」青山貞一氏）があり、また米国、カナダ、ドイツ、スウェーデンの各国軍隊、欧州連合部隊では既にGHG排出量把握と輩出抑制管理が何らかの形で行われているとの報告もある（2008年12月「気候変動が安全保障に及ぼす影響について」三菱総研調査報告）。ウクライナ紛争、IS・シリア・イラクの中東紛争等未だ世界には戦火が絶えず、日本現政権は世界情勢変化を理由に武器輸出を解禁し、安保法制整備により日米同盟強化と世界全域での武器限定使用可能を実現しようとしているが、温暖化対策で大きなウエイトを占めるとされる軍事を聖域にしてはならない。日本の政治が世界各国と連携して軍事のGHG排出量把握と削減に注力するよう提言する。軍事のGHG削減対策実施はまさに政治分野の専権事項である。

政治は以上のような具体的な対策を講じていくに際しては、公益法人自然エネルギー財団や気候変動ネットワーク等のNGOの提言にも耳を傾ける必要がある。

以上、政治分野を選択する理由と具体策について述べた。

問3

環境問題については、環境問題だけでなく環境を含むESD学校教育の小中高大を通して一貫し連続した実施が必要であり、そのようなESDの考えで育った人材が社会に出て、社会でのCSR行動を極めて自然に行えるようにしていく必要がある。現在は小学校で最も熱心に行われている環境教育、ESD教育が中学、高校へ進むにつれて希薄となり、大学受験で完全に断ち切られて、大学では就職を念頭にした実学専門学習になるため、環境意識、ESD意識を身に着けた若者が社会に出て社会をCSR社会に変えてCSR社会の中核となっていく仕組みがない。大学受験がその大きな原因になっており、昨今大学受験を含む大学教育が見直されつつある機会に、ぜひ子供の頃から大学までを連続し一貫したESD教育導入を図っていくよう提言する。

(匿名) W301

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動問題は、CO2排出削減という、世界が一致して同じ目標をに向けた努力、対策を取らないと、解決しないため。

問3

(なし)

(匿名) W309

2-3 選択した理由または具体的な対策

日本においては、政治家の視野が、とくに環境問題に関する部分で狭いと感じる。

問3

(なし)

【2. 経済分野 を解決に有効な対策の分野に選んだ方の回答】

小林 光 002

2-3 選択した理由または具体的な対策

貧困解消のための強力な国内的、国際的再配分対策。

問 3

(なし)

和田 英太郎 009

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

地球温暖化の影響は日本では始まっていると思われる。周辺の海洋表層の温度上昇によって。

森田 知都子 011

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境破壊を促す事業活動による富の集中(軍事、食品等)がなくなる限り、問題解決の道は開けない。貧困や差別が紛争を誘因し環境破壊となる。

問 3

世界の暮らしを均等化に向ける活動が急務。

(匿名) 014

2-3 選択した理由または具体的な対策

様々な国が環境問題に影響を及ぼしているが、特に新興国において改善されれば地球全体に及ぼす効果は大きいであろう。新興国には、経済分野の対策が効力を発揮すると思う。

問 3

(なし)

瀬戸 昌之 025

2-3 選択した理由または具体的な対策

汚染者負担の原則 (PPP) と拡大生産者責任 (EPR) の実施が必要。

問 3

「右」「左」、「賛」「反」のような二者択一ではなく、我々はどのような(未来)社会を望むのか、現実的な青写真をめぐる議論が必要。さもなければ「平行線」のまま、実りが期待できない。

(匿名) 027

2-3 選択した理由または具体的な対策

経済的発展のために環境が犠牲になっている現状を打破する政治(行政)、教育が必要である。

問 3

(なし)

嘉田 良平 039

2-3 選択した理由または具体的な対策

自らの意思や選択の結果として、多くの人(企業)を巻き込めるから。

問 3

宗教間・民族間その他の対立の激化で地球・地域環境の劣化や破壊はすさまじく、従来の環境問題の枠組みをはるかに超えた深刻な状況を生じさせている。

(匿名) 041

2-3 選択した理由または具体的な対策

水路や耕地の構造を、政策的に「生き物にやさしい」ものにしないといけないから。

問 3

(なし)

炭谷 茂 051

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境を無視、軽視した産業活動が、近年国際的に再び活発化している。

問 3

環境への取り組みと関心が大地震以後大変後退していることが心配です。かつて公害先進国だった日本は、国際的にリーダーシップを取るべきです。

2-3 選択した理由または具体的な対策

企業の巨視的自覚が肝要。政治は企業のあやつり人形のごとし。尊敬される日本が求められる。

問3

企業の社会的責任、特に環境負荷のコスト組入れを（計画的）に導入する必要がある。これが必然の未来だ。

太田 英利 061

2-3 選択した理由または具体的な対策

自由競争原則で開発、土地利用が進む限り、上記の問題は解決しないと考えられるから。

問3

人権の尊重、自由主義もいいが、こと環境問題の抜本的解決のためには、行政が専門家の意見を十分聞いた上で、もっと強権的な指導を行ってゆくべきと思う。

竺 文彦 064

2-3 選択した理由または具体的な対策

経済活動がエネルギー消費量を決める。

問3

日本は再生可能エネルギーの利用について、真剣に取り組んでいるとは思えない。

早川 洋行 067

2-3 選択した理由または具体的な対策

原子力発電を止める決断が必要。フクシマの教訓がいかされるべきである。

問3

(なし)

前畑 進 071

2-3 選択した理由または具体的な対策

経済活動にブレーキをかけるには、国際的合意が必要である。

問3

自助、共助、近助の日常活動化が欠かせない。

(匿名) 073

2-3 選択した理由または具体的な対策

できるだけ早く 20 世紀型経済活動から脱却すること、そして欧米的善意や正義の限界を知り、持続可能な地域文化主義に転換すること。

問3

環境問題という焦点の当て方から、地球サミットのアジェンダ 21 の指摘のように、広い視野で 20 世紀末から課題になっている問題群を共有していきたい。

(匿名) 075

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

最近、環境問題についての報道・記事が少なくなったように思います。環境事象は絶えずゆるやかに変化するので、注意深く見守る必要があります。環境問題解決の最大の鍵は環境を大切に思う人々の思いと適切な行動だと思います。

林 隆紀 076

2-3 選択した理由または具体的な対策

短期的な経済への影響が多くの人にとって最大の関心事となっており、そのことがあらゆる分野へ大きな影響を与えている現状があるため。

問3

10 年前に比べて世間ならびに学生の意識の中で、いわゆる " 環境問題 " に対する関心が薄くなっている気がします。

有村 俊秀 090

2-3 選択した理由または具体的な対策

価格メカニズムに対する外部不経済の内部化が不十分。

問3

企業の環境担当者が経済学市場メカニズム利用の重要性をもっと認識すべき。

2-3 選択した理由または具体的な対策

資源多消費型経済スタイルの変更 (原子力発電への依存か、自然エネルギーへの依存か)。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

非持続可能な社会コストを誰も深慮していない。持続可能な社会にする為のコストを multi stakeholder で分担すべき。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

地域内における持続的発展・負荷の低減を目指すとともに、他国との科学的データに基づく連携と協力が必要である。

問 3

電気エネルギーにおける原子力発電の位置づけが緊要になってきている。

2-3 選択した理由または具体的な対策

自己の経済的欲求を満たすことと、その行動が自然や生物に与えるマイナスの影響を比較 (可能な限り金額レベルで) することが不可欠であるから。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

現在の地球の表層 (大気と海洋) の環境は高々過去 1 万年ほどの間のもので、人間はその中で急速に発展してきました。その結果、少なくとも 70 万年の間、氷期間氷期の大変動の中で 200ppm から 300ppm の間の変動に保たれていた大気中の CO2 濃度は、今や 400ppm に達し、人間は未知の世界に入りました。このことを直視しなければなりません。

2-3 選択した理由または具体的な対策

途上国の工業生産の環境対策。乱開発による森林破壊の阻止。

問 3

地球環境対策は停滞していると思われる。

2-3 選択した理由または具体的な対策

現代人にとっては経済的なインセンティブが最もはたらきやすい。

問 3

環境白書などは社会的側面に力点が置かれているが、UNEP の GEO など科学的、客観的事実にもっと着目すべき。

2-3 選択した理由または具体的な対策

企業と大学・研究機関、環境先進都市との連携で環境先端産業を育成し、新たなエネルギーや雇用創出を図るため。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

化学肥料や農薬を多投入する農業が一般的になってるが、そのことと並行して、多くの品種が失われている。遺伝子組み換え品種が登場して以降、この傾向はますます強まっている。農業が維持不可能な形で行われ、多様性がどんどん失われている。大手の種苗会社が特許を独占することで、これまで何の規制もなく使っていたタネがいきなり使えなくなる事態も生じている。農地を保全し、維持可能な形で農業を続けていくためには、低投入循環型の農業を振興する必要があるが、現在は、モノカルチャーを代表とするいわゆる

効率的な農業が目指されることが多い。有機農業をはじめとする低投入循環型の農業が根付くような支援を積極的に行っていく必要があると考える。

問3

今後、社会的金融、社会的銀行という分野が重要になっていくと思われる。環境によいなど社会的に価値がある企業・個人にしか融資・贈与をしないという機関である。

小林 朋道 W059

2-3 選択した理由または具体的な対策

目先の経済的利益が優先されていることが根本的な環境問題の主要な原因の一つと考えるため

問3

(なし)

坪内 彰 W064

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境なくして人類は存続できないはずだが、環境と経済の調和の美名のもと、経済優先の施策が先進国・途上国に蔓延している。

こうした自分勝手な現状を打開するには、TPPなどの貿易自由化策の採択時には、資源や物品の移動距離に応じた環境付加税(*)を課すなど国際的な政治・経済の合意形成を急がないと、手遅れになるところまで、地球環境は来ている。

(*) その収入は国連が管理し、熱帯雨林の保護などの環境対策に活用する。

問3

水資源の枯渇問題は、少なくとも先進国では表面化していないようだが、グローバル企業などによる水資源や水源地の買い占めが進行していることに不安を抱いている。

(匿名) W065

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境問題解決の選択肢の中に、将来世代の負担を増加する方法論が混在する現状を危惧する。

問3

(なし)

森嶋 彰 W076

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

政府が考えているエネルギー基本計画は経済性が色濃く出ており、2030年の電力構成が原発と石炭火力が20%と30%になっています。そのため石炭火力計画が目白押しの状況で温暖化対策が大きく後退している感があります。エネルギーの安定供給と供給コストも重要ですが安全確保と持続性の視点が最も重要です。この基本計画は大きな誤りで気候変動問題をベースとしている世界の潮流に逆行していると思います。今求められているのは次世代の公平を軸にした政策ではないだろうか。

中川 好明 W083

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境の問題は、結局は人口と資源のバランスの取れたスピードで経済活動を行いつつその負荷を如何に最小にするかということに行きつくのではないか。

問3

個人的なことであるが、人生の折り返し点直前にまで近づくと、今まで以上に将来に対する不安を強く覚えるようになったが、わが国においては、人口減による問題が大きな影を落とすように思えて仕方ない。具体的には、自治体の消滅も危惧されるようになった結果、買い物難民になる恐れはないのか、地元できちんとした医療サービスを受けることが出来るのかを心配してしまう。そうした不安も、経済がしっかりと支える状態ならばかなり軽減できるのではないかという気がする。

(匿名) W084

2-3 選択した理由または具体的な対策

経済優先的な政策・施策の見直し、エネルギー政策の見直し、国際的取り組み・協調。

問3

(なし)

(匿名) W086

2-3 選択した理由または具体的な対策

途上国の人口爆発は、高失業率、貧困、過激な宗教への傾倒、社会不安の大きな要因である。unicefに代表される医療支援、食糧支援により乳児死亡率が改善される一方で、宗教上の理由などで産児制限が進まず、そのアンバランスが結果として悪循環を招いている。闇雲な医療、食糧の国際協力ではなく、実効性ある人口抑制策こそが、貧困、食糧、資源・エネルギー、地球環境などの諸問題の解決の鍵となると考える。

問3
(なし)

(匿名) W090

2-3 選択した理由または具体的な対策

化石燃料を極力使わずに発展できる経済モデルが必要。特に地域社会が、投機資本に影響を受けずにかつエネルギーや食糧の自給率が地域内で100%になるような地域内経済循環型社会をつくり安定した生活環境が必要ではないかと考える。

問3

環境問題は、経済の発展と大きく関わってくるが現在の経済発展＝化石燃料の消費という形を変える新しい社会経済モデルが必要だと思う。

足立 辰雄 W094

2-3 選択した理由または具体的な対策

原発の再稼働や原発技術の海外輸出を推進している国の経済政策は不合理であり不道德の極みである。持続可能な社会づくりへの経済政策の柱に、環境経済や環境経営を推進するという正確な羅針盤(判断基準)を持って、原発事業からの撤退を決断、大掛かりな自然エネルギー推進策であらたな技術立国とエネルギー市場開発を目指すべきである。

問3

東日本大震災で自然災害を被っただけでなく、原発事故により地球上の自然生態系に対して最悪の環境破壊物質、放射性物質を拡散し環境への甚大な災害(人災)を引き起こした。原発事故を引き起こした当事者である東京電力や歴代の権力者が誰も責任を取らずに曖昧にされている。環境災害を引き起こした責任を明確にできない政党には環境問題を語る資格はないというメッセージを政治家に伝える責任が国民にある。

横堀 恵一 W108

2-3 選択した理由または具体的な対策

人間の行動が意図しなくても持続的発展かつ地球環境を考慮したものとなるよう、民主的手続で、制度設計(税、排出権取引など)を行うことが本質だと思います。自主的取組みでは、不十分であり、参加しない人との間に不公平が生じる一方、強権的方法で制度を作ると却って、実効性が上がりません。客観的な情報に基づく合意形成努力をもっとすべきと考えます。

問3

環境問題について、Debate方式やRole-Playing方式を取り入れた思考訓練を取り入れるなど、お互いに他国の立場を思いやるアプローチなどにより、合意形成努力ができないかと思ひます。

押谷 一 W111

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

環境問題はすでに危機的状況にあり、解決のための取り組み方を早急に示さなければならない。そして、すべての人びとが問題の深刻さを正しく認識し、取り組んでいくことが必要である。1972年に発表された「成長の限界」はすでに到来している。成長の限界性をすべての人びとが認識したときは既に手遅れかも知れない。今このときから対策を講じていかねばならないだろう。FUKUSHIMA2011は、ひとつのターニングポイントであったはずだが、当事国の政権自身がそこから何も学んでいない。わたしたち自身も歴史が繰り返すことを学ばねばならないだろう。とはいえ、もはや手遅れかも知れないという危機感をもっている。危機感をバネに取り組みを加速させることが必要だろう。

宮沢 栄次 W123

2-3 選択した理由または具体的な対策

現日本政府は、原発停止で減少した発電量を安価な石炭で補おうとしている。そのような短期的視野の経済優先政策が温暖化ガス削減の障害になっている。日本は経済規模および科学技術力に見合った責任を果たしていない。再生可能エネルギーを増やす方向の努力が足りない。

問3

現在注目する人が比較的少ないが、長期的には、化学物質やナノ粒子などの汚染によって、胎児・小児の発達障害が拡がり、人的劣化が進むことが、経済の足かせとなる可能性も十分あり、温暖化をクリアしたのち大問題となるかも知れない(上記分類の「環境汚染」に対応)。また、経済格差に不満を持つ人々が多くなるとテロが拡がる可能性もある(上記分類の「環境と社会」に対応)。

選択すべき項目に関して一言。「地球環境の変化を示す項目」として、もっと工夫できないか。項目数は細分化して20ぐらいあってもよいのではないか。「人類存続の危機」がテーマのアンケートであるのならば、少なくとも先進国の場合は、いまや人口増加ではなく、結婚ができない、ないし結婚したくないと思う人が増え、人口が減少することも大問題ではないか。つまりそれらの原因となる貧困や社会的紐帯の劣化(グローバル化が主原因?)をも独立した項目になりえないか。

以上、勝手な思いつきを述べた。

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球上の人々が先進国並みの資源消費文化・生活レベルを今の経済発展で望めば、間違いなく人類が生存できる地球環境ではなくなる、とはいえ誰もその望みを止める権利は誰にもないし、できないと思う。我々の資源消費文化が素晴らしいという価値観を変更すること、地球環境を考えた持続可能な社会の範囲に入る経済発展を地球規模で考えていく必要がある。

問3

(なし)

小池 清 W136

2-3 選択した理由または具体的な対策

持続的な発展かつ環境を考慮した経済政策、言うことは簡単であるが、効果的な対策となると難しい。結局は各国とも炭酸ガス削減の一定の目標額を掲げて努力する以外にないと思う。

問3

—温暖化対策で発展途上国はあたかも責任はない、ような考えはやはりおかしい。むやみやたらに森林伐採を行い緑を減らすことは問題である。計画的な土地利用、植林政策を導入すべきである。
—環境問題の解決は結局のところ国民一人一人のライフスタイルの変更を要求している。モットイナイ、といった慎ましやかな生活態度が重要である旨、機会あるたびに社会教育活動を進めるべきである。持続的な経済発展のため、学校教育で、低学年から、無駄のない「考え抜いた消費」を繰り返し教えることが必要になる。

(匿名) W139

2-3 選択した理由または具体的な対策

経済合理性のある環境政策でなければ、継続的に活動されないから。

問3

(なし)

佐藤 公彦 W144

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

最近の世界的な経済停滞の兆候に敏感に反応し、我が国を含めて先進国、途上国ともに、経済発展第一の風潮がまた強まってきているように思われる。COP会議での紛糾などを目の当たりにすると、再度、持続的な発展と地球環境に配慮した経済政策を追及する施策を皆で力を合わせて進展させる必要があると思う。

井村 秀文 W149

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

現在の人類の経済活動と生活を維持するには、地球4個が必要だと結論が出ている(エコロジカルフットプリント)。野生動植物の生息地が急速に失われている。チンパンジー、ゴリラ、オランウータンなど、人間に近い霊長類の住む場所が消滅つつある。人類という種の横暴である。陸域の次は海洋が危ない。海洋汚染、気候変動などによって海洋環境(サンゴ礁、クジラ、海洋生物・生態系、その他)に不可逆的な変化が生じてしまうと、その復元は極めて難しい。水の惑星である地球にとって、海洋環境は何にもましてかけがえがない。海洋が経済資源乱開発の対象にならないことを願っている。

織田 創樹 W150

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

economic growthを「経済成長」あるいは「経済発展」という日本語に、何の疑問もなく置き換えてしまう事に疑義を抱きます。「生産額増大」あるいは「生産力増大」とすべきではないでしょうか。「成長」や「発展」という日本語は「是」とされるべき意味を内包しているからです。温室効果ガス削減という絶対的命題の前には「持続可能な経済発展」が、本当に可能なのか十分に検討すべきと思料いたします。本質的な問題は「拡大」ではなく、「分配」にあるのではないのでしょうか。

(匿名) W153

2-3 選択した理由または具体的な対策

水資源にしる生物多様性にしる、それが影響を受けるのは経済を発展させるうえでの無計画性であるため。

問3

公害問題とは異なり、現在の気候変動、水資源、生物多様性などの問題は、その因果関係も含めて正解と言うものがない。その中で、個別の課題についてのみ、性急な対応を進めるだけでは全体に悪影響を及ぼす可能性もある。一方で、特に中国を筆頭に、法で縛れない国や企業が大きな力を持っており、従来の欧

米的な法の秩序による環境管理がきかない状況も一部にみられる。そんな中では、意識或る企業と社会が双方向に建設的に議論し、切磋琢磨できる環境が必要。

(匿名) W167

2-3 選択した理由または具体的な対策

カーボン・プライシングを徹底した、低炭素経済社会への移行が、気候変動への対応の鍵であるため。

問3

(なし)

(匿名) W179

2-3 選択した理由または具体的な対策

文明を維持しつつエネルギー使用量を抑制するには人口減少しかない。計画的な人口減少により、人口減少に伴う問題を緩和しながらエネルギー消費量を抑制することが必要。

問3

多くの国で、エネルギー問題の深刻性が理解されていない現状では、エネルギー欠乏による世界的なカタストロフィは避けようがないと感じる。日本が如何に生き残るか、を第一命題に、計画的な人口減少により、人口減少に伴う問題をある程度緩和しながらエネルギー消費量・食糧を抑制することが必要。純粋に持続可能なエネルギー源は太陽エネルギーのみであり、これで賄える人口、社会構造とすべき。過渡期のエネルギー資源の確保、研究開発、外国の脅威に対する抑止力の確保に取り組むべき。

徳永 哲也 W180

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動、特に地球温暖化への対策は、貧富格差、人口増加、食糧問題とも相まって、環境と両立する人間の豊かさの追求に不可欠である。環境持続を前提としながら、経済の具体策を立てていくことが望まれる。

問3

(なし)

(匿名) W188

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

画一的な基準は合意されないであろうから、各国の国の実情に合わせた実行可能な規制なり合意を目指すことが重要であると思われる。

(匿名) W192

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

福島原発過酷事故の本当の原因が解明されていないこと、そして使用済み核燃料やそのデブリの処理が未解決であること、汚染水問題が未解決であること、デブリの処理、汚染土壌の廃棄方法が見つからないことなど、そして何よりも子供たちが汚染地帯に生活を強要されていることなど問題は山積みである。それを放置し、東京オリンピック開催などと言って、はしゃいでいる政府の姿勢は問題である。オリンピック開催の影響で福島事故収束にむけての作業が遅れていることを理解しているのだろうか。とにかく事故の影響を過小評価し、事故を忘れさせようとする科学者と政府と国際原子力ロビーのあり方は非人道的で、エシカルとは逆の姿勢である。

三宅 真佐子 W200

2-3 選択した理由または具体的な対策

もはや個人的（一国だけの）な経済優先だけでは解決できない事項。今、考え、今行動しなければ、子供たちにマイナスの財産を残すことになると考えています。

問3

(なし)

安藤 友頼 W201

2-3 選択した理由または具体的な対策

社会の方向性、利益による誘導が可能であるから。

問3

(なし)

藤川 格司 W223

2-3 選択した理由または具体的な対策

一人ひとりのライフスタイルの変更だけでは、対策とならない状態になっている。

問3

水資源とその水質についても、大きな環境問題となっていると考える。ペットボトルや宅配水を利用する

人が多く、飲料水に気をつけている。しかし、水道水源地、土地利用や肥料、農薬などの化学物質の利用などに配慮していない。

(匿名) W228

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3

先進国の工業技術・経済力を発展途上国の発展にうまく利用してもらうしくみを作ることが重要である。単なる、資金援助の時代はもう終わりにしたい。

落合 正宏 W238

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3

人間は生物の頂点に居るわけであるが、その足下の生物が単純化すると、生態系が崩れ、我々人間の生存も怪しくなる。ここでは、生物多様性を心配と書いたが、環境の問題は、全てが関連しており、どの項目も一つとして欠くことができない。地球上の生物が気候問題も含め、微妙なバランスの上で成り立っており、このバランスが崩れると、次の安定状態に移行するまで、どの様なことが生じてくるのか予想が付かない。

(匿名) W246

2-3 選択した理由または具体的な対策

生物多様性の保全回復も気候変動も今なお経済的発展に重点を置いた企業活動や公的事業により問題が拡大している。これらの事業、活動を持続可能に変えるためには、政府、自治体、事業団体が連携して経済的手法により不適切なものの抑制、適切なものの奨励、保全回復のための財源確保を図るべき。

問3

生物多様性に関して社会的認識が低下しているのではないかと懸念する。生物多様性条約の下、2020年に向けた世界共通の目標の「愛知目標」の実現に向けて、特にその主眼である「生物多様性の主流化」「社会への浸透」を図るため、政府が中心となって統合的目標を具体的に示し、計画取組、行動を促進する必要が高い。

(匿名) W249

2-3 選択した理由または具体的な対策

短期的には原子力発電所を利用しながら、徐々に再生可能エネルギーへの転換をはかる。エネルギー消費量そのものを抑える方策・技術開発も重要。現在のように感情論的に原子力発電所を止めたままでは、化石燃料を消費して地球規模での気候変動を取り返しのつかない段階にへとすすめてしまう。

問3

もっと科学的な根拠に基づいて環境政策についての政治的判断がなされるべき。そのためには情報の公開と科学教育の推進が不可欠。

中山 由美 W256

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境への配慮が必要とわかりながらも、経済が優先されている。政治家も大企業の利益を優先している。多少の犠牲を払ってでも環境を優先させる施策が必要。最悪の原発事故を経験し、放射能で環境を汚染して何も解決できないまま、再び原子力発電や再処理事業をまだ推し進めようとしている。目先の利益に目を奪われ、次の世代へ残す負債には目を背けている。その姿勢を改めなくてはならない。

問3

環境対策が必要とわかりながらも、経済や目先の利益が優先されている。一人一人が意識を変えるには、社会や政治の率先した取り組みが必要。大量消費型の社会を変えていかなくてはならない。再生可能エネルギーの技術開発、低燃費・節電・節水型の商品開発も必要だが、それだけでは解決しない。それ以前にエネルギーをできるだけ使わない、ムダな消費をしない努力が必要だ。経済成長を求め続け、社会が肥大し続ければ、いずれ限界が来ることに早く気づくべきだ。

枝廣 淳子 W263

2-3 選択した理由または具体的な対策

有限の地球の上で、無限の経済成長はありえない。そのひずみが気候変動問題という症状になっているので、定常経済への移行が必要。

問3

(なし)

川崎 秀二 W275

2-3 選択した理由または具体的な対策

下記の問3で、あらためて述べます。

問3

現代の社会は経済発展偏重主義であり、社会や個人が幸福になるためには、まず経済の発展が最重要との

考えが大前提となっている。従って、環境を犠牲にするというエゴを垂れ流してでも持続可能でない経済活動を続けなくてはならないという妄語的観念あるいは壮大な誤解に捉われている。従来の環境対策がほとんど効果を挙げられていないのは、少なくともそうした経済発展偏重主義の社会のあり方を変えない限り無駄である事、を示している。

しかも、経済発展偏重主義は、人間に真の幸福をもたらす訳ではない。それは虚像の幸福であり、人間としての真の幸福とは異なるものである。20世紀末のバブル経済崩壊から21世紀初頭のサブプライムローン問題やリーマンショック等にかけて、経済を人間の幸福の拠り所にする事はできない(するべくもない)事を経験した筈だが、それでも尚、自省する事ができず、人々は、社会は、経済発展偏重主義を変えられず、経済ではない幸福のあり方について思いをいたすべき事に気付かないでいる。経済学は飽くまで経済の哲学であり、人間の幸福の哲学とは異なる。近代以降、社会は、経済の哲学を幸福の哲学に据えるという大きな誤解を犯したまま進んできてしまっている。

戦後は確かに、衣食住が整うくらいの豊かさが必要な時代であったが、それは社会の発展の初期段階であったからだ。十分「豊か」な社会になった今、社会のあり方の哲学を転換しなくてはならない。次段階は、精神的な豊かさを充実させる社会であるべきだ。欲望のままに経済活動が行われる社会は畜生(動物)と変わらないのではないか。

人間の真の幸福を見誤って邁進する、非持続可能な経済活動。それを止め、社会のあり方の哲学を転換するには、人間の理性や良心が重要な要素となると思う。最後に20世紀最大の歴史学者、アーノルド・トインビーの箴言を引用したい。「諸文明没落の歴史からの第1の教訓は、民衆が狭い利己的な欲の追求に没頭して、自らのエゴを自制することを忘れるとき、社会は自壊していく以外にないということである」(以上)

(匿名) W282

2-3 選択した理由または具体的な対策

新興国途上国の都市問題が悪化をもたらしている。

問3

(なし)

佐竹 敬久 W295

2-3 選択した理由または具体的な対策

これまでのような大量生産・大量消費の経済活動を続けた場合、近い将来、資源が枯渇し、気候変動による影響がますます顕在化することが予測されていることから、可能な限り速やかに、地球環境への負担が少ない新たな社会経済システムを導入して持続可能な社会を構築し、次世代へ引き継いでいくことが喫緊の課題と考えるため。

問3

地球環境問題の解決については、東日本大震災を契機に高まった人々の環境問題に対する意識を維持・継続させ、迅速かつ効果的に取り組むことが重要である。本県も、豊かなエネルギー資源・森林資源、高いリサイクル技術等を活用し、この問題解決の一翼を担っていきたい。

諸富 徹 W305

2-3 選択した理由または具体的な対策

もちろん、問題の解決には科学技術分野の発展が必要だが、それが市場に受け入れられ、経済システムに組み込まれていかないと、社会システムとして問題を解決する方向に動いていかないため。たとえば、再生可能エネルギーに対する技術開発補助が1970年代からずっと行われてきたけれどもずっと主要エネルギー源としては開花しなかったのに、再生可能エネルギー固定価格買取制度という経済的インセンティブを付与した瞬間に、爆発的にその導入量が増加するのは、それが環境に素晴らしいというだけでなく、「儲かる」というこの市場社会の行動原理にも合致していたからだ。こうした教訓から、「持続的発展かつ地球環境を考慮した経済政策」のあり方が、さらに探求されなければならないと考える。

問3

(なし)

石井 徹 W306

2-3 選択した理由または具体的な対策

カーボンプライシング

問3

(なし)

【3. 社会・教育分野を解決に有効な対策の分野に選んだ方の回答】

田崎 和江 004

2-3 選択した理由または具体的な対策

放射能の危険性について、あらゆる分野で教育が必要。政治家の教育が最も重要である。

問3

福島原発事故から4年たつが、いまだに大量の汚染物質が大気中や外洋に流れ出ており、かつ、炉心の

処理と汚染水の処理ができていない。政治家は、今でも "安全" と再開を叫んでいる。世界に向けて、誠に恥ずかしいし、良識が疑われる。

(匿名) 006

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問 3

日本のエネルギー政策が極めてトンチンカン！過去の教訓に学ぶ姿勢なし。こういう時こそ教育に力を！
(米百俵の精神で)

(匿名) 019

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問 3

資源やエネルギーを大量に消費する今のライフスタイルが、形を変えて世界中で私達の生活を脅かしている。みんなが生きていくためにどうある(生きる)べきか、大きな考えの基に一人ひとりが自分の生活を見つめ直すことが必要だと考える。

糸長 浩司 021

2-3 選択した理由または具体的な対策

ライフスタイル、脱経済成長、自然エネルギーについての国民の意識改革が必要。

問 3

格差社会の是正、平等政策、国際的配分等。

(匿名) 023

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問 3

日本の温暖化対策における政治の不在が深刻である。あまりにも経済優先で、温暖化対策がかなり後回しにされていると思われる。

植田 勸 028

2-3 選択した理由または具体的な対策

食糧危機も土地利用の文明社会の痛恨による文明生活への反省とその具体的努力が必要。

問 3

もの豊かな文明生活を当然のことと受け入れる文明の横暴のある限り絶望的である。「絶望的」ということと「絶望」とは対極にあると認識して日々の反省と努力が求められる。

(匿名) 030

2-3 選択した理由または具体的な対策

ライフスタイルを変えなくては解決できないし、変えるためには教育による啓蒙が必要。

問 3

(なし)

町田 光 031

2-3 選択した理由または具体的な対策

先進国及び今後発展途上国も、資源多量型スタイルから転換しなければ人類存続の危機になる。

問 3

(なし)

(匿名) 035

2-3 選択した理由または具体的な対策

ライフスタイルや価値観が変化するような成功例を示す。

問 3

(なし)

北野 孝一 040

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問 3

それぞれの地域資源を活かした持続的な環境・生命文明社会づくりを実現していく核となる人材の育成を急ぐべきである。途上国では経済成長を目指すことが先行し、環境(河川、海洋、土壌、大気など)汚染、CO2の排出などが急速に悪化してからの対応になる。各地域の特性を活かして取り組む真の専門家が求められる。

(匿名) 048

2-3 選択した理由または具体的な対策

物の考え方、価値観を健全にしてゆくことが重要。

問3

(なし)

原 剛 053

2-3 選択した理由または具体的な対策

3 (社会・教育分野) なくして、他はすべて砂上楼阁にすぎない。

問3

環境倫理、哲学 (人文科学) の確立なしには、環境 (財) とは永久に自由財で、自滅するであろう。

上田 隆一 054

2-3 選択した理由または具体的な対策

市民の意識と知識の問題。その解決には啓発と教育が重要。

問3

環境への取り組みのレベルは、個人及び組織、団体の一員としての責任の感じ方による。行き着くところ、個人としての責任感の重さと大きさが左右するのでは？

(匿名) 055

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境問題とエネルギー問題を整理して捉える必要がある。理想論で終わらないことが大切ではないか。

問3

(なし)

橋本 孝明 057

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

地球規模、宇宙規模で環境問題を考える時期にきている。この中で、人間中心の考えをやめ、経済中心の考えを戒め、動物、植物、非生物の状況をしっかり考慮すべきだ。

小林 誠 074

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

日本は、原発再稼働、軍備拡大、戦争参加体制など絶望的状态と感じる。歴史に学ばない国は滅亡する。

(匿名) 092

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

近年の激しい気象現象は、海水温度の上昇と地球環境サイクルが変わりつつある結果と考えます。適切な対策をどうとるか、又とれるのかとれないのか考えたい。

岡崎 洋 098

2-3 選択した理由または具体的な対策

毎日の生活にできるだけとりこむことがのぞまれようか。

問3

(なし)

(匿名) 101

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球規模でのライフスタイルの見直しが必要。

問3

(なし)

(匿名) 104

2-3 選択した理由または具体的な対策

意識の向上、実践的な活動が重要と考える。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

全ての選択はヒトの行為の結果であるため、認知基盤を変えなければ何をしても改善されない。

問3

真剣味が足りません。人類が減びる前に全て原状復帰は義務のほうです。

2-3 選択した理由または具体的な対策

一人一人の自覚と行動が重要であるから。

問3

- ・環境危機に対して基本は人口の増加対策でしかない。
- ・また費用と効果が合理性が無いものには投資すべきでない。
- ・一人一人の努力で少しずつ改善(?)するしかない。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

地球環境問題は気候温暖化の他、大気・海洋・河川湖沼汚染、特に有害化学物質・放射性物質汚染、水資源枯渇、食糧危機、貧困・格差増大、国際紛争（その背景には、貧困や過度の経済発展への欲求がある）。それらは、個々の研究では解決されない。
マスメディア等では表面的に環境問題を報ずるだけで問題の本質に切り込むことは殆ど無い。例えば「先進国」の二酸化炭素排出量は見かけでは減少しているが、それは工業生産拠点を「途上国」に移しているからであり、地球全体の排出量を増やしている。
見かけだけの経済発展（株価上昇、物価上昇、好景気、開発）に目が眩み、本当の生活質の向上に無縁の過度の利潤追求・経済発展に明け暮れている。"af"がその活動をキレイ事に留めず、本質的・社会的な問題提起と啓発に集中されることを期待する。

2-3 選択した理由または具体的な対策

科学的な説得力のみではライフスタイルは変えられず、教育と啓発で政治・経済を動かすことで問題解決につながる。

問3

様々な価値観を認め合い、特に先進国や新興国は、足るを知ることの重要性を啓発されるべきである。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

中東・東ヨーロッパなどでの地域紛争（戦争）は、資源の浪費だけでなく、市民の貧困格差を増大させる。その結果として自然収奪が進み、再生力を喪失させることで、人類生存の危機を進めるのではと不安感を高めている。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

我々が知らない地球システムの部分に変化してくる可能性が極めて高いと考えます。今の地球を観察し記録することが重要で、衛星による地球観測をしっかり継続する必要があります。

2-3 選択した理由または具体的な対策

個人の生き方や意識の改革が鍵と思われるから。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

マスコミ関係者の再教育、これからのマスコミ就職希望者への教育。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

地球温暖化対策として

- ・化石燃料からのエネルギー転換の促進 (再生エネルギー・新エネルギーの活用・技術革新)
- ・低炭素社会へのライフスタイルの転換 (水素社会へのシフト)

(匿名) 141代

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境問題の解決のためには、行政の取組だけでなく、さまざまな主体が自主的、積極的に行動する必要があるため。

問 3

(なし)

(匿名) W007

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

モンゴルの放牧の民の生活が地球に優しいと言われていたが、今や彼らは草原を捨てて都市生活者になってきている。中国の人民も先進国並みの食糧や嗜好品 (コーヒーなど) を求め生活水準を上げてきている。地球全体で人類がどうあるべきか、国の利害を越えて考えないといけないのだが……。

(匿名) W018

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

人口・食糧問題とエネルギー・資源問題は環境問題の中で最も重要であり、密接に関係している。しかも、市場原理の中で平和的に解決する必要がある。大変困難な問題であり、勝手な個人の思惑や、短期的、愚かしい政治姿勢で解決できるものではない。

楠田 哲也 W024

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

まだ何の問題もなく安定した生活をおくれているし、将来も問題ないことを願う気持ちから安易な演繹的推定により今後も問題ないであろうとする状況の下で、現在の環境変化のトレンドや推定により厳しい将来が待っているのに帰納法的に今日なすべきことに思いを馳せることができないのは、人間の本質に加えて教育の不十分さがある。人々の理解と協力がすべての根幹にある。

田中 廣滋 W025

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

最近では、世界各国は関心が高まっているのに、日本では政府と報道機関の努力が低下しているように感じる。

(匿名) W031

2-3 選択した理由または具体的な対策

学校教育等を通じた環境教育の実施、市民講座等を利用した一般市民への啓蒙、為政者への意識喚起、が必要と思われる。

問 3

環境問題には科学技術の問題ばかりで無く、教育、啓蒙、意識改革。政治経済など様々な側面から取り組む必要がある。

鈴木 克徳 W036

2-3 選択した理由または具体的な対策

まず現在人類が直面している危機に対する人々の意識改革が必要。そのためには、教育システムの抜本的改革と社会システムの変革に向けた制度の構築、そのための政治のイニシアチブが不可欠。

問 3

人類が直面する危機に対する警告はこれまでたびたび行われてきたにもかかわらず、各国政府は対応してこなかった。現在待ったなしまたは手遅れの状態になりつつある中、早急な行動が必要。気候変動交渉がその一例。ただし、各国の行動を促すのは人々の意志。人々が将来世代に対する責任を明確に認識して行動を起こすことがまず第一歩。SDGs がどのように決まるかが当面の試金石。

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境問題の教育または啓蒙、環境問題解決へ向けての科学的な指針の構築。3、4 とは密接に関係する。

問 3

地球温暖化がすすむと単に砂漠の拡大、台風の巨大化などの気象の変化だけでなく、海面上昇による、日本の国土の一部が埋没する恐れがある。今後、すでに廃炉の時期を迎えながらも継続運転している原子力発電所の事故による環境への放射能汚染の可能性が高まるかもしれない。多くのしがらみの中で続けられている原子力発電は今や引き返す勇気を持つ時。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

依然として地球環境問題が深刻な状況にあるにも関わらず、環境問題が危機的な状況にあることに慣れてしまい、「なんとかなる」と思われ始めているのではないかと危惧している。環境への関心が定着するなかで、危機意識が薄まり、言われたことをやっていれば「なんとかなる」との非主体的な状況が見られる。全般的に環境問題に対する熱がさめ始めていることに危機感をもつべきであろう。環境問題への取り組みは明確な答えを持たない模索と試行錯誤を伴うものであり、すべての人と組織・国家の主体的な努力なしには改善しないものであると確信している。もっと持続可能な開発のための教育 (ESD) や環境教育に多くの力が割かれなければならない。

2-3 選択した理由または具体的な対策

我々、人間一人一人の考え方を変えないかぎり、問題の根本的解決は不可能と考える。

問 3

環境問題は日本の問題でもあり、世界の問題でもある。世界ではまだ貧富の差が大きいのので経済の発展は常に求められるが、経済は発展しつつ、エネルギー、資源の消費は増加させないという考えをとり、そのための施策を実行していかないかぎり、地球全体としては環境悪化に向かわざるをえない。我が国は新技術の開発で貢献すべきであり、他の国々の人々との交流を盛んにして、環境問題を政策課題として各国で真剣に取り上げるよう、協力して努力する必要がある。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

環境問題に対する政治的・社会的な行動が問題となっていると思います。うわべだけの経済再生である証券取引における株価の経済性優位を誇っていますが、実質的には国民一人ひとり、企業自身が、環境問題解決のできる从小さいことでも一つ一つ解決してゆくことが大事だと思います。実際には、企業でも個人でも行動を起こして実際に行っている輪を広げることが大事だと思います。

2-3 選択した理由または具体的な対策

原発の再開があたかも当然のように進められようとしているが、国民不在の議論や検討、審査であり、国民の意見はまったく反映されていないと思う。現実問題として、電気料金は高くなっているが、原発稼働なしでも国民生活への影響はそれほどないと考える。原発再稼働の是非について、もう少しきちんとした情報開示を行い、国民全体で再稼働問題を議論、検討する機会を設けるべきであると考え。特に小・中・高・大学において、原発の問題を授業の一環として取り上げ、正しい知識を与え、原発を含むエネルギー問題全般の考え方を醸成することが肝要である。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

食料やエネルギー生産・消費のグローバル化に伴い、生産地の資源の枯渇が問題となっている。持続的な資源利用を可能とする経済政策とともに消費者のライフスタイルや価値観の変更が必要である。

問 3

資源の枯渇ともなう環境問題について、消費量の多さが人間の厚生を向上させるといった考え方から、消費量が少なくても厚生が減少しない、新しい価値観に基づく厚生関数が必要と考える。

2-3 選択した理由または具体的な対策

有効な対策が難しいことが危機の原因 NO.1 の理由

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

種々の空間スケールの環境問題についての正しい認識が、具体的な対策の立案にとって有効である。

問 3

自然環境の包括的な保全が、経済的側面だけでなく、個人の幸福に繋がるという価値観の醸成が必要。

(匿名) W079

2-3 選択した理由または具体的な対策

爆弾低気圧、ゲリラ豪雨などの言葉に代表されるように気候の変動の度合いが大きくなっている。エネルギー利用の効率化、低炭素社会実現のための技術開発が必要と考える。

問 3

(なし)

(匿名) W085

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境問題への取り組みは、国や組織や個人に問題を認識させることから始まります。問題を認識し、対策を考え、行動していきます。したがって、まずは問題を認識させる、教育・啓蒙こそが最も大切であると考えます。

問 3

環境問題は、人口が増え人々が豊かさを求めることで経済活動が活発化することにより必然的に発生してきます。しかし、人口を抑制し豊かさを我慢するという対策は採りえません。そこで、豊かさを再定義し、人々が求める豊かさの質を変えていくことが必要なのだと思います。物質的な豊かさから精神的な豊かさを求める方向に、人々の志向を変えていくための、教育・啓蒙を続けていくことが、結果として環境問題の解決につながっていくものと考えています。

(匿名) W088

2-3 選択した理由または具体的な対策

政治や経済を動かしていく人が、経済の基盤に自然があることを理解していない。環境に関心のある人はそれが理解できるが、そのような人は政治や経済分野で中心的役割を持たない。あらゆる分野の人が早い段階から生態学や地球科学を学び、システムとして地球をみる視点を当然のごとく持たなければ意味がない。今の教育は学習指導要領を始め、そのように機能していない。また、行動する人を育てるためには、個々の個人が社会を作っているという市民教育も必要であり、これも今の教育に欠けている。環境問題への対策は必要なので誰かにしてもらいたいという人は多いが、当事者性に欠けている。すべての世代、すべての分野の人が Future Earth を考えられるよう平均値を上げなくてはならない。

問 3

(なし)

藤村 コノエ W093

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

気候変動など危機的状況にある中で、人類に残された挑戦の時間は残り少なくなっている。にもかかわらず、世界人口は増え、世界中が政治・経済・社会のあらゆる分野で大きな課題を抱え、ますます混迷の度を増している。そうした中で、問 2-3 のあらゆる分野での取り組みが不可欠であるにもかかわらず、殆どの国が、自国の利益、現世代の利益の追求に躍起になっており、このままでは人類社会は絶望的ではないかとさえ思える。地球規模で考えること、次世代を最優先に考えることは、できないのだろうか。また、短期的には、政治的決断や経済システムをグリーン経済に転換していくことが重要だと思うが、そうした力を育むのは教育以外にはないと思う。教育の効果が出るには、時間がかかり、危機的状況にある環境問題の解決に間に合うかどうか心配ではあるが、それでも、やはり教育は重要である。特に、経済優先で、次世代への想像力を欠いた、今の日本の政治家や経済人には、環境倫理や環境の科学に関する教育が必須だと思っている。これは、単に環境問題の解決というだけでなく、持続可能な社会を構築する意味でも重要だと思うからである。

並木 慎一郎 W097

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

最近の日本は、政府も財界も「環境問題 / 環境対策」から腰が引けている。社会・教育分野を地球レベルで客観的に比較すると、日本は贅沢とムダが多すぎる。現状の環境問題に関しては、全てが温室育ちの過保護である、と言えるのではないかと。犬や猫のペットを見ても、日本のペットは「世界一」の肥満体である。子供も発展途上国の子供と比較すると肥満体が多い。子供たちの勉強志向や意欲も劣っている。長い目で見ると、やはり「教育・啓蒙」が最重要課題であると思う。

2-3 選択した理由または具体的な対策

水質汚染は都市化の進行などによる生活排水が主な原因であり、それぞれ一人一人が当事者意識をもち、水の使い方を変えていくことで問題解決へつなげていくべきだと考えるため。

問3

(なし)

石田 秀輝 W104

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境問題は人間活動の肥大化であり、その結果として気候変動、生物多様性などのリスクが生まれた。根本はライフスタイルそのものにある。心豊かに暮らすことを前提にこのライフスタイルを創成する事こそが今最も重要なことではないかと考えている

問3

地球環境問題は人間活動の肥大化であり、その結果として気候変動、生物多様性などのリスクが生まれた。根本はライフスタイルそのものにある。心豊かに暮らすことを前提にイノベティブなライフスタイルを創成する事こそが今最も重要なことではないかと考えている。そのようなライフスタイルへの変換は不可能ではなく、すでに多くの予兆がそれを示している。日本では、1980年代からモノより心の豊かさを求め、若者は車より自転車を、週末には自然を、古いものを修理したり交換したり・・・これらは明らかに予兆である。残念なのは企業や行政がこの予兆に答えられていないことである。是非、アジアの盟として、日本がこの新しいパラダイムを創るべきであると思う。

草刈 秀紀 W105

2-3 選択した理由または具体的な対策

多様化する環境問題を理解する為には、多様な情報提供と教育が不可欠。

問3

(なし)

(匿名) W109

2-3 選択した理由または具体的な対策

自然と共生するライフスタイルや価値観をもたないかぎり、森林伐採や無秩序な土地利用をふせぐことができないと考える。

問3

(なし)

藤田 均 W114

2-3 選択した理由または具体的な対策

生物多様性とは何か、今青森県（日本）ではどのような状態か、生物多様性に考慮した経済活動、土地改変、森林の開発・保護はどう行うべきかについて、一般の人が知らないことが問題と思う。義務教育として行われる環境教育等で、一生の中に必ず二、三度は学べる仕組みがほしい。

問3

①青森県（日本）は景気が低迷しており（派遣社員が増加しており）、環境問題を真剣に考える余裕が無くなっているのが問題。②人類存続の危機に対する認識を「数値化」することは、具体的にイメージできることから、大切と考える。

梶本 晃章 W116

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

経済発展段階で見れば、地球上の国々に、余りに格差がある。しかもこれから、地球環境に影響を大きく及ぼすのは発展途上経済だ。この人達は、現在、数十年遅れて先進国がかって通った道を辿っている。誰も文句は言えない。先進国社会が謙虚にリードしなくてはいけない。しかし、現実には、過去数百年間、特に欧州は、途上国経済を搾取し続けて来た。これからは、償いをするべき段階ではなからうか。

西野 孝 W125

2-3 選択した理由または具体的な対策

日本に限っていえば政治経済の分野及び科学技術の分野での取り組みはある程度達成されている（伸び代が小さい）ため、今後は国民の意識、認識を高めることが重要と考えられるため。

問3

(なし)

(匿名) W138

2-3 選択した理由または具体的な対策

小学校から、環境学というような科目の新設により、子供のころから環境意識を醸成する。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問 3

食糧問題→人口問題→社会・教育分野の解決策と考えたが、人口問題に対する取り組みはとても困難な問題だと考えます。

2-3 選択した理由または具体的な対策

都市への人口集中が環境負荷を増大させるだけでなく、農業従事者（後継者）を減少させ、農村集落の存在を危うくしている。これは、食糧生産を減少させることにもなっている。よって、マスメディアが現状を正しく伝えるとともに、地方自治体やNPO法人等が組織、集団として中・長期的な方針を決めて、継続的な取り組みを行わなければならない。

問 3

温暖化現象とヒートアイランド現象を混同したり、温暖化の理由を未だに「CO2」だとして報道し続けるNHKやマスコミを矯正することが必要だと思う。意図的な映像を使用した悪意のあるもの、単なる無知に由来するものも含めて環境に関わる誤った情報が世間に氾濫している状況に不安を覚えます。

2-3 選択した理由または具体的な対策

1人1人が自分のこと、あるいは自分の子どもたち（次世代）の問題としてとらえることが重要だから。

問 3

環境問題解決への動機付けもまた重要で、その意味では、政治・経済分野の政策が求められる。

2-3 選択した理由または具体的な対策

我々一般市民が便利に快適に暮らせる世界は、確かに素晴らしい。しかし一方で、自分たちが快適に過ごすことだけを目的としたとき、歴史や文化を顧みず、大気汚染や自然破壊が止められないものとなる。私たちが、同じ目標に向かって多様なアプローチから仕掛けていくとき、必ず時代を変える大きなエネルギーとなると考える。そのためには、多角的な社会教育分野が重要な要素となると思う。

問 3

長年、環境問題を意識化させる啓蒙活動を続けてこられたことに敬意を表する。その上でしかし、このアンケートの項目は、今の地球環境の課題における原因（土地利用、環境と経済、環境と政治など）と結果（気候変動、生物多様性、環境汚染など）の両者が混在したかたちで並立していて、それが現している危機時刻の精度に少し疑問を感じる。

2-3 選択した理由または具体的な対策

成長、拡大に代わる社会理念が望まれる。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

世界の海洋水産資源は、極めて深刻な事態に陥っており50年先の漁業は衰退しているとの研究レポートもある。これには、適切でない資源管理、環境への無関心と無知、南北間の対立など様々な問題が絡み合っていると考える。その解決は極めて難しいが、単なる近視眼的な経済的視点からでは、さらに問題を深刻にしてしまうであろう。原発再稼働に対する、日本政府及び経済界の対応は、典型的なものであると思う。

2-3 選択した理由または具体的な対策

社会の意識を変えなければ対応できない

問 3

人間の意識を変えるのは難しい。教育に力を入れるべき。

2-3 選択した理由または具体的な対策

地球環境問題のうちで人間の行動が原因となる問題については、教育によってその問題となる行動を変容させることにより解決できると考える。ここで、すでに問題を起こしている大人の行動を変容させることは容易ではない。20年先を見据え、その問題行動を次の世代に引き継がないように、幼児教育から取り組むことが肝要である。

問3
(なし)

(匿名) W185

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3
広島豪雨災害を念頭に回答させていただきました。

(匿名) W189

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3
自然科学で環境問題を解決できる課題は相応の水準に到達しつつあるものの、社会科学的な諸課題の解決が相対的に遅れていることへの対策が不十分である。

西田 治文 W193

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3
成長経済を前提にした持続可能性ばかりが議論されるが、生物生産の安定なくして経済は成り立たない。毎年の安定した食糧生産を支えているのは、地球規模で大きな変動がないような環境と生態系である。生物多様性はこれらを保証する前提でもある。成長経済はまた、地球の資源を消費し続けることにもつながっており、それが人口増加とあいまって世界的な生物多様性の急減を招くという悪循環となっている。また、世界の国々は現在でも資源と資本の収奪を目標にして対立しており、新たな戦争の危機もはらんでいる。これらの問題を解決するには、成長を抑制しつつ一次産業を基盤の一つとして資本が回転するような経済理論と、資源の浪費を抑制するようなライフスタイルを定着させるような政策転換と、必要な教育、国際合意が不可欠だと思われる。

湯川 靖彦 W194

2-3 選択した理由または具体的な対策
(なし)

問3
地球問題の施策として社会・教育分野を挙げましたが、それらを支配している政治の問題が最も心配です。

(匿名) W205

2-3 選択した理由または具体的な対策
原子力に関する問題を風化させない努力が必要

問3
地球環境問題の中に、核問題を入れるべき。原子力に関する大項目がないのはおかしい。

(匿名) W211

2-3 選択した理由または具体的な対策
民主主義、資本主義体制下では、選挙権を有する国民、消費者の多くが、選挙や消費活動において賢い選択をするようにならないと状況が改善しないから。

問3
(なし)

(匿名) W212

2-3 選択した理由または具体的な対策
世界では人が増え、エネルギーやその他の供給量が大きく変わらない中、ライフスタイルや考え方を見直す必要がある。しかし日本では人口は減少し、社会そのものの成立条件が希薄になると同時に、そのようなメタ的な意識から乖離していく危険性がある。グローバルな視点、日本人が決してエコではないという自覚、それらを踏まえて総体としてどうするのかという点についての教育が重要であると考えた。

問3
(なし)

(匿名) W219

2-3 選択した理由または具体的な対策
地球規模での人口増加と貧富の格差など経済問題が抜本的な解決の前提となるが、実行は容易ではなく、各国家・民族の環境問題への関心を高めることが実行可能な方法と考えられる。そのため社会・教育分野での地道な取り組みを重視したい。

問3
環境破壊の実態をより多くの人々に認識してもらう取り組みが不可欠と思われる。

2-3 選択した理由または具体的な対策

国民一人一人の意識改革が必要

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

人口問題は、社会の成熟度に影響されるところ大で、生活面での向上、個人の考え方の質を高める教育、社会制度などでのレベルアップなしには解決できない問題であるから。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

一人ひとりが危機意識を持つことである。

2-3 選択した理由または具体的な対策

現在は、あまりに環境教育が行き届いていない。不十分である。環境問題の解決には、基本的な社会の意識変化を伴うため教育こそ不可欠。それが、いくら危機的状況であっても、クライシスを回避できる唯一の可能性であると思う。環境教育ができなければ、危機を目前にして、そのまま、欲望に従い進むだけとなる。

対策としては、小学校、中学校を重点的に、高校においても十分な時間、環境問題の授業を行う。まずは「現状を知らせること（授業）」について、「環境問題の根本（原因）を考えさせる授業」が必要。その上で、「どうすればいいか」ここは「求められる社会（国家）」と「求められる自分でできること」の二つを意識させる必要がある。とくに、過去の環境汚染の事例（原因と経緯）をしっかりと教え、教訓を肌身に引きつけ浸透させることが必要であると考えている。

問3

現在、とくにここ数年は、環境問題に対する社会の意識低下が著しい。希薄化している。非常に危機感を覚える。しっかりとした問題意識を社会に発信し続けることが大事なのに、それが全くなされていない。不要な危機感や恐怖感を植え付けるのは異なる。ダメなことはダメなことなのだと、気づき（気づかせ）そして、行動に移せるリテラシーの社会的確立が、今、とくに求められてると思う。

2-3 選択した理由または具体的な対策

エネルギー資源を自然エネルギーへシフトしなければならない、という一般的な意見は多いが、具体的に現在使われているエネルギーの総量（具体的な数字）がどのくらいで、それが現在の技術で自然エネルギーから得られるかどうかの認識が欠けていると思う。各個人、企業などがエネルギーをなるべく使わないようにしなければとても無理と考えられる。この点、教育・広報が重要と思う。経済の発展と環境の維持は両立するのは困難であるのは理解できる。根本は地球上の人口が多すぎるのが問題と思う。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

3.11 を体験した私達は、温暖化の対策として安易に原子力に頼ろうとする政策には、懐疑的になっている。一方では、消費者として、電力自由化を求め、自然エネルギーによる原発フリーの電力を求める運動を推進すべきだろう。また他方では、「消費者」にカテゴライズされる以前に、一人の人間として、エネルギーに過剰依存しなくとも幸福でいられるようなライフスタイルを自ら創造的に試行していくことも必要だろう。教育を通して、人間の選好を長期に渡る持続可能性を支持し得る方向に転換させるような道徳的な動機付けに善導していくことが必要だろう。

問3

3.11 東日本大震災とそれに伴う福島原発事故を経験した私達は、汚れていない空気、土地、水、そして食べ物の重要性を痛感したはずだ。特に、そうしたものを子ども達のために祈ったはずだ。生きていく上で、何が必要なのか、という「必要」の真の意味を改めて学び直したはずだ。これを原点にして、もう一度、自分達のライフスタイルのあり方を再検討する必要があるだろう。

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

原子力発電所の再稼働問題など、政治的な思惟も感じられるが、地球全体にとって我が国の果たすべき役割を念頭に考えるべきと思う。

(匿名) W268

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

気候変動についても生物多様性についても概念の主流化が必要で、政治・経済を含め国際社会が環境問題に最優先に取り組むことが不可欠である。

(匿名) W279

2-3 選択した理由または具体的な対策

もうこれ以上の技術革新は必要ないと思う。ライフスタイルを見直し、便利さの追求ではなく、自然と調和のとれた生き方をめざしたい。地方での生活を実りあるものにする工夫が必要だと思われる。

問3

(なし)

(匿名) W284

2-3 選択した理由または具体的な対策

本来は政治的な分野での解決が良いのですが、国によって利害関係が出て来て解決が困難な場合が多いと思われる。従って環境教育がより大切になると思う。

問3

現在、地球環境の変化が著しく変化していることは、種々の現象でわかっているが、いつも国の利害関係が先に立っている。そのようなことを言っても地球環境が益々悪くなっていくだけと思っている。

畚野 信義 W293

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

エコの問題はエゴの問題です。

(匿名) W297

2-3 選択した理由または具体的な対策

援助や押しつけではなく、発展途上国の人々自身の意識が変わることが根本的で持続的な解決方法である。

問3

温室効果ガスの排出、食糧問題、水資源の不足などの多くの問題の原因は人口が多すぎるためである。COP などでは人口問題の議論が足りないように感じられる。

(匿名) W298

2-3 選択した理由または具体的な対策

2-1の選択肢に関わらず、そもそも地球「環境」『問題』という、非常に分かりにくい言葉で語らざるを得ない現実に、より大きな問題があると考えます。一人一人が考える、疑問を持つことができるためには、教育というアプローチしか無いのではないかと考えます。

問3

(なし)

仁連 孝昭 W303

2-3 選択した理由または具体的な対策

生物多様性について全く配慮しない土地利用、ライフスタイルが都市で営まれているが、人間の生存と生物多様性の関係について、ほとんど何も知らないまま行動し、法律がつくられている。まず、行政、経済界、研究者・技術者の生物多様性に関する社会的認知が必要である。そのための基礎教育をすべて教育機関、職場で行い、生物多様性責任者を置くことをあらゆる機関に義務づける必要がある。

問3

(なし)

【4. 科学技術分野 を解決に有効な対策の分野に選んだ方の回答】

近藤 三雄 008

2-3 選択した理由または具体的な対策

科学技術の進歩発展なくして次々と生起する新たな環境危機を乗り越えることができない。

問 3

新たな原発事故の発生を想定して、極力除染廃棄物を生じさせない放射性物質の除染技術の確立を、日本が中心となり国際的なプロジェクトとして早急に取組むこと。(福島教訓を世界に生かす)

(匿名) 012

2-3 選択した理由または具体的な対策

自然エネルギーを利用(海水、風力 etc)した技術開発に期待しているため。

問 3

問1に対して地域における視点からは実感のない回答となりました。

岩田 助和 013

2-3 選択した理由または具体的な対策

気象変動や温暖化はどの国も望んでいない。その対策となる科学技術の発展が最も基本である。

問 3

(なし)

(匿名) 016

2-3 選択した理由または具体的な対策

食糧増産技術の発展。

問 3

(なし)

千脇 秀樹 018

2-3 選択した理由または具体的な対策

政治的な解決では地球環境の悪化を止められないため。経済的な面から科学技術の進展によって均しく利益を受けられるようにしなければ、各国の協力を得られないのではないか。

問 3

(なし)

(匿名) 020

2-3 選択した理由または具体的な対策

今までのやり方を変えるのは容易ではない。技術や制度で補うしかない。

問 3

環境問題だけ声高に叫んでも限界がある。人々は環境だけで生きている訳ではないからである。環境・経済・社会がてい立するアプローチが重要と考える。従って、「環境」を広義に捉えて考え、行動する必要がある。

原田 朗 044

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

再生可能エネルギーという表現は言葉遊びに終わっている。

横山 直史 050

2-3 選択した理由または具体的な対策

CO2を始めとする温室効果ガスの削減は、技術革新、イノベーションによってかなり可能であり(Ex. 再生可能エネルギー)、その為には環境産業の育成が急務です。

問 3

これ以上の地球温暖化を食い止める為には、規制措置を伴う「国際環境法」の制定が必要となります。

安藤 昭一 052

2-3 選択した理由または具体的な対策

変動の正確な予測とそれに対応できる科学技術の開発が最重要と思われます。

問 3

環境を考える以前に今や宗教的なエゴが地球を壊しています。全て人間のエゴです。

矢島 稔 056

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

大気と河川、海洋、土壌などの汚染が少しずつ増加している中で、目に見える現象が始まっている。それが加速度的にひろまり、人間の健康に影響し始めているのに、総論賛成各論反対では何もしていないのと同じである。

2-3 選択した理由または具体的な対策

新エネルギーの創出。

問3

(なし)

新田 尚 093

2-3 選択した理由または具体的な対策

未解決の問題も含めて、メカニズムを一層極める必要がある。それによって具体的な対策も深まると考える。

問3

環境問題の重要性は多くの人が認めるところであるが、具体的な対策を含めてこの問題を深めるにあたっては、依然として各個人、組織、国家の政策担当者の見解が分かれていて、効果的な対応が遅れている。

(匿名) 096

2-3 選択した理由または具体的な対策

安全性、安定性を担保した新エネルギーの開発。
地球温暖化と気候変動の関係性の技術的解明。

問3

(なし)

(匿名) 099

2-3 選択した理由または具体的な対策

2011年以降、化石燃料の使用が増大していることから、化石燃料の使用を減らす技術の開発が必要。

問3

(なし)

(匿名) 120

2-3 選択した理由または具体的な対策

国際協力活動のもとに省エネルギー技術開発を実施して、その技術を地球規模で普及させる。

問3

(なし)

松野 太郎 131

2-3 選択した理由または具体的な対策

核融合が実用化されれば「温暖化問題」は消滅する。昨年秋、ロッキードマーチン社が「10年以内に小型の発電炉実用化」という発表（明らかに誤り）をした時、少人数ながら、温暖化問題の解決を期待した専門家がいた。日本の「水素社会へ」という技術開発、特に水素の貯留技術（千代田化工・岡田氏）は、大きなブレイクスルーで自然エネルギーへの転換の促進が望まれる。

問3

温暖化に関して、日本の問題と世界の問題と区別して議論する必要があるだろう。日本は先進国で、もうエネルギーをそれほど必要としないが、世界の中で新興国・途上国にとってエネルギーは社会・文化の発展に欠かせない。

(匿名) W002

2-3 選択した理由または具体的な対策

正しい科学（環境に対する、もしくは正しい科学的判断方法・基準）の教育（幼稚園から高校までの基礎段階での教育が必要）とそれに伴う行政の行動・支援が必要だと考える。

問3

(なし)

(匿名) W003

2-3 選択した理由または具体的な対策

画期的な新技術が必要。

問3

(なし)

(匿名) W022

2-3 選択した理由または具体的な対策

国際的な枠組みや各国の努力も必要だが、最終的には再エネ採用や省エネの技術に頼ることになる。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

先ずは、環境技術で省エネ、資源の有効活用、一次エネルギーから再生可能エネルギーにシフトさせる必要があります。

問 3

原油価格は、OPEC の政策を除けば、いずれ高価格な原油価格になる筈ですから、ドイツのように原発廃止に向かうべきです。

(匿名) W030

2-3 選択した理由または具体的な対策

東日本大震災および原発事故を原因とした食糧安全の問題が懸念されます。さらに、中国や韓国などの隣国による海産資源の乱獲などによる天然食糧資源の枯渇が心配です。

問 3

地球温暖化以外の環境問題を、より広く国民に知ってもらう必要があると思います。

(匿名) W041

2-3 選択した理由または具体的な対策

日本の場合、東日本大震災による原発事故により、放射能汚染とエネルギー供給の問題が露呈しています。放射能汚染、廃炉には膨大な時間を要するうえ、エネルギーミックスをどうするかの指針、国民的合意が取られていないと思います。

問 3

(なし)

(匿名) W067

2-3 選択した理由または具体的な対策

解決にはイノベーション、特に科学技術分野でのイノベーションが必要だから。

問 3

(なし)

(匿名) W071

2-3 選択した理由または具体的な対策

政治・経済ではコンセンサスが得られない。科学技術の進歩のみ合意形成が可能。

問 3

固有種に対する危機がある。外来種があまりにも多すぎて、増えすぎている。ペットの放し飼いや放棄には少し重い罰則を付け、持ち主のタグを埋め込んだ方がいい。昆虫・魚類はどうしようもないが、いいアイデアを募るしかない。温暖化対策は重要である。このまま海水温が上昇したら、サンゴ礁が死滅し、プランクトンも減少、従来の水産資源は枯渇するかもしれないといわれている。微量かもしれないが、有機水銀やダイオキシンが入った鯨やマグロを食べることによる人体に与える影響を分析することも必要である。

(匿名) W087

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

発展途上国での開発において、先進国の失敗を繰り返す必要はない。先進国が何かできることがあるはず。

堤 純一郎 W096

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

気候変動が人類に及ぼす影響は、砂漠化のような長期的で大規模な現象から、ゲリラ豪雨のような短期的で局所的な現象まで多様な形で現れるが、人類が歴史的に未経験の予測できない方向へ向かう可能性が高い。その大きな原因として地球温暖化の現象が挙げられ、その緩和や適応に対する対策が考えられているが、政治や経済の分野での取り組みも重要であるが、基本技術の転換となるような科学技術の革新的な成長が鍵となるだろう。その基本概念は、従来の強引とも見えるような現況変革技術ではなく、自然の地形や材料や生態系等をベースにした柔軟で多様な適用が可能な技術になるものと想定する、または、そうなるべきである。

(匿名) W135

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問 3

我が国の持続可能な発展のためには、福島第一原発事故の処理（廃炉作業、汚染水処理、除染後の汚染土壌処理）が適切に行われることが必要条件であると考えます。そのために、多くの不確実に対する適切なり

スク管理およびその対策が求められるが、国が主導的役割を担い、明確な指針を示すことが必要であると思う。

山口 務 W171

2-3 選択した理由または具体的な対策

温暖化問題はエネルギー問題の裏面と考えられるため、CO₂排出削減のためにはエネルギー技術の革新が不可欠。

問3

(なし)

(匿名) W197

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

地球的視野に立てば環境問題の解決には、人口爆発と貧困の問題を解決するしかないかと思う。日本はある意味例外的な国であろう。

(匿名) W209

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

LEDなどの広がりを見ると、技術の進展によりカバーできる問題がずいぶんあるように感じています。

奥田 郁夫 W210

2-3 選択した理由または具体的な対策

省資源（資源の再生利用）・省エネルギーの重要性は、今日もあまり変わっていないから。

問3

(なし)

富板 和夫 W216

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

現在の異常気象などにたいし、各人が当事者意識を持つ事が重要。ややもすれば、自然現象だからと放置されがち。

(匿名) W225

2-3 選択した理由または具体的な対策

化学技術により状況を改善もしくは適応していくことが大事と思う。

問3

(なし)

浅沼 市男 W237

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

半減期の長い放射性物質のように、回復に長時間を要する環境汚染の可能性を極力避ける施策を志向すべきである。

(匿名) W240

2-3 選択した理由または具体的な対策

(なし)

問3

懸念されるのは内陸乾燥問題で、内陸の砂漠化は不可逆的に進行し、砂漠面積は拡大の一途である。内陸の生産性低下や、ハビタブルゾーンの縮小は生物存亡の危機であり、重要な課題と思う。しかし、地球温暖化問題と内陸乾燥の進行など数々の問題との関連性は、殆ど整理、解明されていないと思われる。地球温暖化に関する目標設定と規制ばかり先行してしまうのは何故か。地球温暖化以外の重要問題への対処や取組がもっと必要と思う。

(匿名) W241

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境に関する認識は、広い領域にまたがる複合分野であるために、学問として広く定着していない。自然科学を学んだ人が指針を作る必要がある。

問 3

環境問題は、とかく公害や自然破壊に目が奪われがちであり、一般人の認識である。環境の変更は人間が豊かで安全な社会を構築するために科学技術が用いられ享受してこれたが、知識の不足などから負の遺産となったことがある。一般の人は例えばダム建設に、自然破壊といった点から反対する人がいるが、人間生活の安全を考えると、ある程度変革が行われることは仕方のないことと考えられる。地球環境は人類が滅亡すればよくなるかもしれないが、これでは本末転倒である。あくまで、これからも人類が末永く、安全で快適な社会を構築するための、地球環境を考えるべきである。

(匿名) W245

2-3 選択した理由または具体的な対策

予測不能と思われる地球環境問題を解決するためには普遍的な理論の発展が欠かせないと考えます。また、環境問題解決へ向けての科学的な指針の構築もまた必須と考えます。

問 3

(なし)

(匿名) W253

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動の要因やメカニズムの客観的で正しい把握が不可欠。

問 3

(なし)

(匿名) W261

2-3 選択した理由または具体的な対策

世界的規模での気候変動対応。

問 3

(なし)

山口 佳宏 W274

2-3 選択した理由または具体的な対策

現在は、情報社会の中にいます。多くの情報が、簡単に手に入る世の中です。しかし正しいかどうかまでは、情報には付加されていません。さらに正しいと判断する情報も付加されていません。このように情報は、不完全な形ですが、「アラブの春」のように社会までも動かす動力となっています。

このような情報は、社会問題の解決に利用すべきだと思います。ただ正しい情報または正しいと判断させる情報は、判断の根拠として付加させるべきです。これら情報は、仮説をもとにして実証するという科学技術の発展によって成し遂げられると思います。これは地球環境問題でも当てはめることができます。「このように効果が出るから、このような施策が必要だ」という内容であれば、政治的にも国民レベルでも理解して行動に移せると思います。科学技術の発展によるコミュニケーション・教育の充実も必要です。

問 3

地球規模の環境問題は、国家レベルで解決すべき問題です。しかしどうしても「経済的發展」という思想が問題解決を邪魔しているように思います。同様の問題として、薬剤耐性菌の問題があります。地球規模で薬剤耐性菌の拡散が始まっています。これは 20 世紀の大発明の一つとして挙げられる「抗生物質」を無にする問題です。この問題も国家レベルで解決すべき問題です。しかし、薬剤耐性菌問題を具体的に克服する施策が打たれていないように思えます。特に企業は、薬剤耐性菌に対する創薬を経済的理由でしごきません。多くの問題が、地球規模で増えつつあります。これら問題を次世代に残さないためにも、解決するために具体的に行動すべきだと思います。

米田 稔 W276

2-3 選択した理由または具体的な対策

環境汚染対策や環境負荷の軽減に必要な技術開発を早急に進め、地球規模で取り組む事が必要だと思います。

問 3

地球の環境を守る事を産業化出来れば多くの企業や研究者や一般の人達がより積極的に真剣に参画し、取り組むようになり効果的であると思います。特に、後進国の人達は、自分や家族が生きてゆく事に精一杯の状況なので、地球環境の事を考える余裕は無いと思います。でも、仕事につながり生活の糧になるなら彼らも、いや、先進国の人達ももっと積極的に取り組むと思います。少し、現実的すぎる話で申し訳ありませんが、見方を変えた一つの考え方です。

中澤 隆雄 W289

2-3 選択した理由または具体的な対策

一定程度の科学技術の進展は見られるものの、解決策を見出すためにはいまだ不十分であると思われる。

問 3

快適な環境に慣れてしまうと、以前の状態に戻ることは極めて困難だと思われる。しかし、環境を維持・保全していくには、膨大な人的・物的資源等の裏付けが必要となり、全世界の人々が等しく快適な環境を

享受できるようにすることは、現状ではほとんど不可能に近い。人間のあくなき欲望が環境問題の最たる要因であり、至難のことではあるが、どのレベルで欲望を抑えるべきか真剣に考えなければならないと思われる。

西川 榮一 W292

2-3 選択した理由または具体的な対策

*具体的な対策は政治分野、経済分野でのそれら、とくに国際協力を強化する政策が急がれるが、国際政治では、依然として、世界（地球規模）の問題よりも諸外国と自国との利害関係を最重要指標として、他国に比していかに自国を有利に導くかの駆け引き外交に終始している。*また経済分野において、依然として、自企業の利潤獲得を最重要指標として、他企業との成長競争にいかにか打ち勝つかの企業活動に終始している。*このような経済分野、政治分野の活動が持続不可能であることは、資源面、廃棄物面、とりわけ後者の環境制約を考えれば、だれの目にも明らかになってきているのではないか。

にもかかわらず、従来からのパラダイムにおける経済・政治活動が続けられているのは、そのパラダイムを支える科学技術モデルが従来そのまま、変わっていないことが原因の1つと考える。*環境制約とくに廃棄物環境制約、科学技術利用に係る安全制約を組み込んだ、人類社会全体の維持発展という、新たなパラダイムの不可避性を論拠づける科学分野、とりわけ経済・政治・システム科学などの社会科学分野の活動の進展が急がれていると思う。

問3

(なし)

(匿名) W299

2-3 選択した理由または具体的な対策

科学技術により、それらの項目の基盤的要因・枠組みの解明、そして、その結果に基づく、物的・社会的等に係る対応・対処の方途・方策の提示等を強く期待したい。また、このことと並行して、対応の構図に対するマネジメントの構築、等々も求めたい。これらの全体の必要から、項目4を選択した。

問3

(なし)

(匿名) W308

2-3 選択した理由または具体的な対策

気候変動の様々な事象が現実的なものとなってきている反面、日常の生活や事業活動の中での意識的な行動が深まってきていない。現状の経済活動の維持を前提とする限り、問題の解決（緩和・抑制）をはかることは難しい。

問3

(なし)

【5. その他 を解決に有効な対策の分野に選んだ方の回答】

(匿名) 058

2-3 選択した理由または具体的な対策

治水・利水のための投資と水利用のルールづくり。

問3

(なし)

勝田 悟 062

2-3 選択した理由または具体的な対策

秩序の形成（法政策）。条例、法令の規制、規程及び遵守の方法の統一化。

問3

環境は学術的に広い分野であり、すべてを把握すること（人）は困難。細分化して考えていくべき。（当然、有機的関係は前提）

大西 章博 W001

2-3 選択した理由または具体的な対策

国際的な合意形成と国単位の政策。

問3

(なし)

(匿名) W073

2-3 選択した理由または具体的な対策

新しい暮らし方の提案。

問3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

国家や政治経済が環境問題を解決できるとは、地球温暖化国際会議の混迷な行く末を見ると、とても思われ
れない。グローバルになって世界が平和で安全で環境が守られているとはとても思われれない。環境問題の
為の真の施策とは、国家間の利害の為に、ecologicでなく egologic に陥っている。一番可能性のあること
はライフスタイルを教育上から考え直すことが求められる。

国の施策としては、エネルギーを含めて地方に任せるべきである。福島原発事故以来既に太陽光発電で原
発2個分の発電が可能となったと聞く。

東北大震災の復興の折りに、国家は企業から、200兆円の献金を減税恩典と裏腹に募金し、これで東北はお
ろか国中を自然エネルギーを応用する持続型のエネルギー大国に日本を生まれ変わらせるチャンスがあっ
たと思われる。今となっては既に個々に汚染地域に帰ろうとか、自然環境を破壊する高い防波堤を設置して、
自然環境を破壊する悪しき復興が既に進んで、取り戻しようがない状態となって、遅遅と復興が進んでい
ない。これで良いのかと思われる。

原発や高い防波堤でどれだけの家屋に太陽電池を取り付けられるか、高台移転が可能となるかを考えて見
ると良い。1つの県、1つの市を全部移転して国の姿を変える予算を今の日本の企業は、空前の利益を海外
移転で抱えていることを考えてみるべきである。これを見ても国家は企業の利益を擁護する側にあると考
えざるを得ない。即ち国民の一人一人を救うと言う立場にないことは明らかである。これは先の大戦で軍
隊が国民である軍人を多く死なせ、結局は国民を守れなかったと、司馬遼太郎が言うように、状況は先
の大戦時中も現在も少しも変わらない。

国家全体の経済追求のライフスタイルの変換がまず問うてみるのが肝要だと思う。そのためにはウラン
棒の残存価格が、国家・企業の負債と考える思考の変更がまず必要となろう。

提案した200兆円は国家と国民・企業の大きな持続型の環境保全、国民即ち地域住民の意識改革の大き
なきっかけとなり、日本が世界に冠たる環境国家として生まれ変わりの大きな契機を生む財源となる。こ
れは企業にとっても有利な献金以上の利益を生む大きなターニングポイントとなる。現在の国債900兆円
の借金の返済も十分に返還可能となる。

そのときになって、初めて環境経済と言うべきであろう。国家も環境経済施策と呼ぶべきであろう。

問3

環境と経済の説明が持続型の環境政策とあるが、現在いずれの企業も政府も環境持続型の経済を目指して
居るとは思われれない。経済とはグローバルに人間の富増大欲望の手段として使われているのであって、経
済と環境は元はと言えば相容れないことは明らかである。従って例え環境持続型だと言っても経済活動そ
のものが環境を侵食することを意味する。経済発展をしながらの環境を保全することはどうも無理である
ように感ぜざるを得ない。自然環境を持続型の経済で保護することは神話であってとても信頼をおけない。
人類が経済発展を諦めることができない以上、即ち富の追求を諦めない以上、自然環境を永遠に求められ
ないことに繋がる。ISの国家存在を無視する活動の真意もここにあるのではと思われる。国家が自然環境
を守ろうとすると、一方で経済発展への排他的な強い指導力と関与、国民を富ませ財産を守ると言う命題
との間にジレンマがある。グローバル化時代の企業においても規模の大小に依らず抱えるジレンマの程度
は同じであるが、感受性はずっと薄い。

(匿名) W122

2-3 選択した理由または具体的な対策

法制度分野 過剰な開発や無計画な土地利用の規制のため、また、管理放棄地対策として代執行などを可
能とするために権利関係を調整するため、法制度が必要である。

問3

(なし)

(匿名) W126

2-3 選択した理由または具体的な対策

勿体ないという意識や、地球の有限性を感じ、分ち合い、和して共存する文化の広がりが必要。節約
の美德が、経済的な大損とならない様な感覚が必要です。復古主義や宗教・民族などの有害な対立の理由
付けは容易ですから、意識的な人類共通の価値の強化・普及が大切と思います。

問3

地球上の経済発展状況は、数十年前とは全く異なっています。BRICSの成長や、偉大な過去への回帰など、
課題が多様化しています。宇宙船地球号上の人口爆発に対し、資源制約・食糧制約・水制約、等への対策を、
環境対策の柱とする様に、パラダイムをチェンジすべき時期に来ている様に思います。数十年前の環境対
策からのシフトです。今迄、想定外として、「仕方ない」として諦めていた外乱に対する備えが大切と感じ
ます。

(匿名) W154

2-3 選択した理由または具体的な対策

1から4までのどの面が欠けても、有効な対策になり得ない。

問3

「あなたがお住まいの国または地域における」環境問題の深刻さの程度は、現状ではそれほど大きくない
と思われるが、何らかの災害が発生したときに生じる可能性がある環境問題は深刻さの度合いを増している
ように思われる。つまり、環境問題リスクは年々増大しつつあると感じる。

2-3 選択した理由または具体的な対策

1 から 4 の分野を総合的に取り組む要有り。

問 3

(なし)

2-3 選択した理由または具体的な対策

世界的に平和に対する価値観を高める。

問 3

問 1 の項目に挙げているすべての内容は、それが問題か原因となりある程度人口が減った段階で問題も小さくなるはずであり、人類存亡の危機には結びつかないと考えます。

2-3 選択した理由または具体的な対策

化石燃料から自然再生可能エネルギーへのエネルギー転換が必要

問 3

環境問題は非常に深刻な問題となってきたため、温室効果ガスの排出量を減らす温暖化防止対策を早急に進めることが重要であるとともに、大気汚染では、光化学オキシダントや PM2.5 などの大気汚染物質を減少させていくこと、また、海においては、環境や漁業などに重大な影響を与えるプラスチック類などの海ゴミ（海底ゴミ、海岸漂着ゴミ、漂流ゴミ）の回収や発生抑制を行っていくことが必要である。そのためには、規制強化や法整備などの十分な対策をとることが求められる。

2-3 選択した理由または具体的な対策

介護と医療の分野において使い捨てやエネルギー利用の拡大がすすんでいる。生活の便利さや贅沢や嗜好の問題、経済の拡大の問題と関連していたのに対して、人口の構造の変化、政治的意思、医療費の拡大をどう考えるかなどの複合的な問題である。

また、環境汚染は、1970 年代に「公害問題」として質的なものとしてはじまった。現在の地球気候変動は量的な拡大が質的な変化を引き起こすものだ。

さらに、質的な環境破壊を内包し続けていた核廃棄物が、量的な問題として立ち現れている。

簡単な答えはないのに、今年のダボス会議でも IT 技術、ロボット技術などについて楽観的な紹介ばかりが目立った。もう誰も警告のベルを鳴らさない。それが最大の環境問題なのではないか？ こんな楽観的な情報ばかりで次世代が育っていく。であるとすれば、拡大主義が止まることはないだろう。

問 3

1980 年代 90 年代、「出口なし」「成長の限界」が指摘された。その事態は変わっていないのに、研究や報道は新奇性を追いつける。このアンケート調査だけが「危機感」を思い出させていると感じる人も多いのではないか？

いまのわたしたちのライフスタイルが持続可能なものではないことは明らかだ。教育は、その社会の文化やライフスタイルを次世代に伝えるものだ。しかし、「いまの世代が間違っている」ことを、現在の教育制度において伝達することは難しい。権威である教員が、間違っていることを教えるという自己矛盾にぶつかるからだ。

2-3 選択した理由または具体的な対策

社会・教育分野に該当すると考えられるが、地球という閉じられた系の中で最適な人口の維持管理がどのようにすれば可能かきわめて困難な課題と思う。

問 3

国際政治の混乱の中で環境をどのようにコントロールできるか不安である。